

【面接+アンケート】の集計

アンケートは、広島県北部と広島市内の教師に140配布した。回答があったのが62である。

アンケートの回答は、予想以上に詳しく記入されており、「面接」と同じぐらいに教師の意識が読み取れるものであった。これは、面接だとその場ですぐに回答しなければならないが、アンケートだと、時間をかけてゆっくり考えることができるという側面があったからだろう。時期的に、教師も「性教育の教科導入」を意識しているときであり、関心を引いたものと思われる。

「面接」の場合は、これまで積極的に取り組んでいる人は、即答ができるが、そうでない人にとっては難しい設問が多かったようだ。今回はやや「積極派」が多かった。

内容的には、特に大きな違いはなかったので、「アンケート」の基礎データを、「面接」の補完データとして読んでいただければ、より「教師の意識」にちかづくことができると思う。

1. 男女の内訳

女 (76人)	男 (53人)
---------	---------

2. 結婚歴

あり (101人)	なし (26人)	不明 (2人)
-----------	----------	---------

3. 教育歴

①	②	③	④	⑤	⑥
① 1～5年 19人	② 6～10年 29人	③ 11～15年 37人			
④ 16～20年 19人	⑤ 21～25年 10人	⑥ 26年以上 15人			

4. 現在の担任学年

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
① 1年 15人	② 2年 13人	③ 3年 18人	④ 4年 29人			
⑤ 5年 23人	⑥ 6年 23人	⑦ その他 (担任なし 4人・養護学級 1人 障害児学級 2人・不明 1人)				

5. 性に関する授業をしたことがあるか。

ある (107人)	なし (22人)
-----------	----------

6. 改訂版保健・理科の教科書に目を通したか。

はい (34人)	いいえ (85人)	一部 (10人)
----------	-----------	----------

7. 来年度の準備をしているか。

始めている (33人)	始めていない (88人)	不明 (8人)
-------------	--------------	---------

8. 小学生に性交を教える必要があるか。

ある (106人)		不明 (2人)
	なし (11人)	分からない (9人)

9. いよいよ性教育が始まったと思うか。

思う (48人)	思わない (69人)	不明 (4人)
		分からない (9人)

面接調査（女性・20代・12名）

結婚歴	あり (1)	なし (11)					
教育歴	1年 (2)	3年 (2)	4年 (2)	5年 (3)	6年 (1)	7年 (1)	
	10年 (1)						
現在の担任学年	1年 (4)	2年 (3)	3年 (1)	4年 (2)	6年 (1)	養護 (1)	

(1) 性に関する授業をしたことがあるか。

ある (9) ない (3)

「ある」と答えた人

- ☞テーマ
 - ・生命の誕生 (3)
 - ・赤ちゃんはどこからくるの? (2)
 - ・障害者は生れてこないほうが幸せなのか。
 - ・わたしの誕生
 - ・体の清潔（自分を大事にすること）
 - ・わたしたちのころ
 - ・男と女のからだの変化（月経、精通）
 - ・「性交－妊娠－出産」の仕組み
- ☞学年
 - 1年 (3) 2年 (3) 4年 (1) 5・6年 (1) 6年 (1)
- ☞回数
 - 単発 (7) 不明 (1) 恒常的 (1?) 年1回だが1～6年まで計画的にしている。
- ☞質問
 - ・お父さんとお母さんはどうやって合体するのか。 (2)
 - ・へその緒をはさみで切るとき痛くないのか。
 - ・いま、ぼくたちも赤ちゃんを作る準備をしているのか。
 - ・お母さんのお腹から生れるのにどうしてお父さんに似るのかな。
 - ・どうして男と女ができるのか。
 - ・犬の雄が雌のうえに乗っかっているけど人間もやっているのか。
 - ・人間にも種があるのか。種を植えたら人間がはえてくるのか。
 - ・お腹のなかではなぜ赤ちゃんは逆さになっているのか。息をしていないのか。(2)
 - ・どうやって赤ちゃんは外に出るのか。
 - ・羊水のなかにいた赤ちゃんは、生まれたときすいすいと泳げるのか。
 - ・「子どもたちへ」のビデオを見たとき、どうしてこんなものを見るのかときかれた。
 - ・性交の時痛くないのか。

「ない」と答えた人

- ・これまで性教育は養護教諭にお任せという雰囲気があったから、自分も任せた。
- ・まだ機会がない。 (2)
- しかし今妊娠中なので、おりに触れて話している。

(2) 改訂版保健、理科の教科書に目を通したか。

はい (3) いいえ (8) 保健だけ (1)

「はい」と答えた人

- ・小学校段階でここまで教えなくてはいけないのかと少々驚いた。
- ・胎児のイラストがあったのでびっくりした。科学的なことばかりなので、心情的な部分をフォローしなければいけないと思った。

「保健だけ」と答えた人

- ・今までは初潮教育だったが、男女のからだの仕組みが具体的に説明してあるなど思った。

(3) 準備をしているか。

始めている (2) 始めていない (9) 不明 (1)

「始めている」と答えた人

- ・新聞、雑誌に目を通す程度。
- ・手づくりの教材づくりを手探りしている。養護教諭としてどう関わればいいのか考えている。

「始めていない」と答えた人

- ・低学年だし、出産育児休暇に入るから。
- ・研修の機会がない。
- ・低学年だから
- ・改めて5年生からという意識はないから。
- ・言い訳ですが、忙しい。

(4) 小学生に性交を教える必要があるか。

ある (9) ない (1) わからない (2)

「ある」と答えた人

- ・疑問が出れば答えるのが当然だから。勃起や精通、射精、初経などを教えておく必要がある。男女が抱き合うことは話していない。
- ・あやふやにしておく、正しくない知識を吸収してしまう。早いほうが抵抗がないと思う。 (3)
- ・子どもは動物の「交尾」はよく知っている、その延長とすれば自然に受け入れられると思う。
- ・知ることによって、親や教師にも素直に質問できると思う。
- ・5年生くらいで既に周りの情報から知っているようだが、正しく認識するためのチャンスと思う。
- ・早い時期に、正しいことを知っておくべきだ。1、2年生で教えている。中学では遅い。
- ・性教育を受けた子どもの最後の疑問は「性交」だと思う。自分や友達を大切にするという意味でも教えたほうがいい。
- ・何の目的で性交をするのか正しく知ってほしい。興味本位で使ってほしくない言葉であり、してほしくない行為である。

「ない」と答えた人

- ・タブー視されているなかで小学生に教えるのは難しい。親の考え方の無視できないから。

「分からない」と答えた人

- ・子どもの精神年齢を無視できないし、寝た子を起こすことはしたくない。
- ・子供達が知りたがっているのは分かるが、興味本位になってはいけないから。

(5) あなたが考える性教育のメインテーマは何か。

- ・体の清潔 (2)
- ・男女の違い (女の子は妊娠するからだ=弱さを自覚してほしい。男の子には女の子へのいたわりや思いやりを持つこと)
- ・男女のからだの仕組みとその違い。 (6)
- ・男女が尊重し合うこと (2)
- ・生命の大切さ (6)
- ・生命の誕生 (4)
- ・性交 (2)
- ・心の変化
- ・第二次性徴

- ・生活習慣
- ・生命の神秘性
- ・愛

(2)

(6) いよいよ性教育が始まったと思うか。

思う (4) 思わない (6) わからない (1) 不明 (1)

「思う」と答えた人

- ・テレビ、新聞などの報道ぶりから。
- ・最低限ここまで教えるという指針が出たと思うから。
- ・今まであやふやにすましてきた感があるが、今後は男女一斉に教えていくことができる。

「思わない」と答えた人

- ・「交尾」など理科で学習しているから。
- ・二、三年前から実践されている。が最近特にいろいろ試みがされてるなどは思う。
- ・この程度では言えない。
- ・以前からしている。学校のなかに位置付けられたのは評価する。推進しやすくなるから。
- ・あるのが当然。

(7) 小学生の性意識や性行動の問題点。

- ・男の子がパンツをずらしたり、ずれそうでずれないところを女の子に見せたりする。
- ・わりと子供達はオープンに話している。悪いほうにでなければと思う。
- ・エロ、エロイなどよく聞く。興味本位にあおられているようで、正しい知識とは結びついていない。 (2)
- ・男の子に性器いじりが多い。 (2)
- ・性的言葉を先生と子供達で使い分けている気がする。
- ・性教育の積み重ねで、男女に思いやりが出てきた。
- ・疑問を感じたりしていても言い出せない感じ。
- ・男の子が男の子へ「エロ」といってからかう。
- ・男女が仲良くしていると「エロイ」といって冷やかす。
- ・体のことを学習するのに「恥ずかしい」と目を背ける子がいる。
- ・「セックス」という言葉を意味も分からず使っている。

(8) 性教育を進めていくうえで障害となるのは何か。

□あなたの場合

- ・照れ、恥ずかしさ (4)
- ・誤魔化すのはいやだし、真実を伝えるのも難しい。
- ・他教科で手いっぱい、なかなか性教育まで手が回らない。
- ・「性交」を教えるのは恥ずかしいし、自信がない。若いと茶化されそうだし。
- ・資料をビデオに頼りすぎている。手作りしたいが勉強不足。
- ・興味をひく資料づくりがなかなかできない。
- ・お産の話になると、経験がないので具体性にかける。 (2)
- ・異性の悩みが分からないという不安。

□学校の場合

- ・形式的になりがち。 (2)
- ・親への啓発がされていない。 (2)
- ・忙しすぎる。
- ・教師の意識レベルの差 (2)

□社会的には

- ・性情報が必要以上に歪曲され氾濫している。 (6)
- ・小学校で性交まで教える必要はないという意識。

- ・男らしさ、女らしさ。男は能動で女は受動といった社会通念。
- ・男尊女卑の考え方や性の商品化。
- ・学校と社会のギャップ。

(9) 今一番欲しい教材は何ですか。

- ・分かりやすく温かい感じの図 (3)
- ・実物大の赤ちゃん
- ・視覚的にきれいで美しいもの
- ・学年にあった紙芝居やビデオ (5)
- ・絵本

(10) 養護教諭にどんな協力をしてほしいか。

- ・授業プランのアドバイスとケア
- ・保健の立場から、体の大切さなど子どもに話してほしい。
- ・子供達の相談に乗って欲しい。
- ・あくまでも担任が主なので、サポート程度でいい。
- ・専門的知識が豊富なので助言してほしい。
- ・野外活動前の女子向け生理教育は続けてほしい。
- ・資料をそろえてほしい。 (2)

(11) 管理職にどんな協力をしてほしいか。

- ・性教育の勉強をしてほしい。
- ・男女差別のない学校づくりをしてほしい。
- ・保護者への啓発
- ・学習会を企画してほしい。
- ・性教育が日常的にできる雰囲気づくり。 (2)
- ・教材、教具の充実。

(12) 教育委員会にはどんな協力をしてほしいか。

- ・研修の場を作ってほしい。 (2)
- ・指導方法を具体的に教えてもらいたい。
- ・日ごろから子供達に接している方の講演会。 (2)
- ・予算の確保。
- ・教材の整備。

(13) 医療関係者にはどんな協力をしてほしいか。

- ・講演会などに積極的にでてほしい。
- ・なんらかの形で連携を。 (2)
- ・専門的な知識を分かりやすく子供達や教師と話し合う場が欲しい。 (3)
- ・教材づくりの手伝いをしてほしい。

(14) 保護者にはどんな対応をしてほしいか。

- ・子どもの体や心の変化に敏感であってほしい。
- ・恥ずかしがらないで子どもにきちんと教えてほしい。 (6)
- ・気楽に親の方から話してほしい。
- ・妊娠や出産の時の気持ちなどを話して「親にとって大切なんだ」ということを感じさせてほしい。 (2)
- ・「先生に聞いてみんさい」なんて言わないで自分で向き合してほしい。
- ・親自身が性教育に関心を持ち、論議の輪に加わってほしい。

- ・初潮の手当では学校でも教えるが、お母さんから教えてほしいし、その準備を日ごろからやっておいてほしい。
- ・子どもの悩みに近づいて、いっしょに考えていく姿勢を持ってほしい。

(15) 自由記入

- ・エイズ教育をしていることなどを聞くにつけ、性教育の流れもどんどん進み、ついていけないものを感じる。五日制や性教育報道のなかで、学校はどうなっていくのかという漠然とした不安にかられる。
- ・性教育に性差別の視点を入れていかないといけないと思う。
- ・子供達は他の授業より熱心に聞くので、ちゃんとしないといけないと思う。1年生のうちに両親の愛を受けて生まれたのだということを教えたいが、母子家庭、父子家庭の子どもの存在を考えると立ち止まってしまう。
- ・若いので具体的に教えづらく、苦しいところもある。
- ・エイズを教えたいがどうしたらいいかわからない。
- ・報道で「性交」ばかりがクローズアップされているようで、不安。
- ・まだまだ自分の照れくささや恥ずかしさが拭い去れない。どう乗り越えたらいいのだろうか。
- ・諸外国のオープンな教育に対して日本はまだ戸惑っている。日本にあったやり方を模索すべきだ。自分が子どもを産んで生命の重さを感じる。性行為と子どもができることがうまく結びついてほしい。
- ・今までは思いつき性教育だったように思うから、これを機に勉強したい。
- ・性教育の授業をしたことがないので実感として分からない。性教育の基本をどこにおけばいいのだろうか。自分の受けた男女別の秘密めいた感じではなく、新しいイメージで取り組みたい。
- ・私たちの時代に比べると初潮も早く、異性を意識しはじめるので、この時期（4年生）には是非きちんと教えたいと思う。子どもはこちらが心配するほど性を歪曲して受け止めていない。段階に応じて進めていけば、悩みも不安も解消され、衝動的に走らないと思う。性教育を通じて「生き方」を学んでほしい。

面接（女性・30代・13名）

結婚歴	あり（13）					
教育歴	4年（1）	6年（1）	8年（2）	10年（1）	12年（2）	13年（1）
	14年（3）	15年（2）				
現在の担任学年	1年（1）	3年（2）	4年（2）	5年（3）	6年（4）	障害児学級（1）

(1) 性に関する授業をしたことがありますか。

ある（12） ない（1）

「ある」と答えた人

- ☐テーマ
 - ・胎児の成長（妊娠中なので）
 - ・男と女のからだの違い (4)
 - ・赤ちゃんはどこから生まれてくるの
 - ・赤ちゃんはどうしてできるの（性交）
 - ・第二次性徴 (2)
 - ・性差別「男らしさ、女らしさ」
 - ・妊娠、出産
 - ・生命
 - ・自分を知り、相手を知る（副読本「ひとりてふたりでみんなと」を使用）
 - ・修学旅行前の生理指導
 - ・生命の誕生
- ☐学年 担任学年と同じ
- ☐回数 単発（9） 恒常（3）
- ☐質問
 - ・自分の悩み（生理が始まらない、性器が小さい、身長が低いなど）の相談。
 - ・中絶の意味
 - ・結婚と性交の関係 (2)
 - ・話をきいているいろいろ分かった。
 - ・いつごろ生理は始まるのか。
 - ・これから自分はどう成長（からだ）するのか。
 - ・生理があったり、勃起したりするのは自分だけなんだろうか。
 - ・どうやって精子と卵子がひつつくのか。 (2)
 - ・どうして男と女がいるのか。
 - ・お母さんと赤ちゃんはどうつながっているのか。 (2)
 - ・双子はどうやってできるのか。
 - ・へその緒がまきつくのはどうしてか。
 - ・どうして男は赤ちゃんを産めない仕組みになっているのか。
 - ・男はおかまになったら子どもが生まれるのか。
 - ・産むときは痛いのか。
 - ・精子とおしっこが一緒になることはないのか。
 - ・産婦人科について知りたい。
 - ・お腹の赤ちゃんに大きな声で話してもいいですか。

「ない」と答えた人

- ・ずっと低学年だったので学習内容に入っていなかった。

(2) 改訂版保健、理科の教科書に目を通したか。

はい（5） いいえ（8）

「はい」と答えた人

- ・写真や図など詳しくのっていたが、使い方が難しいと思った。言葉が羅列してある感じ。

- ・教科書に体の成長や生命誕生が記載されているのは良いと思う。ただ、後は現場任せというのでは困る。
- ・あれでは子どものなかにもやもやが残ると思う。
- ・生物学的なところだけで、心情部分をどのように扱うかはっきりしていない。
- ・5年までにどう積み重ねていくかが課題だ。

(3) 準備をしているか。

始めている (4) 始めていない (9)

「始めている」と答えた人

- ・雑誌や新聞などの性教育に関する記事を切りぬいている。
- ・これまでに指導してきたことを再検討している。
- ・副読本「ひとりでふたりでみんな」を自前で購入し、生徒二人に1冊ずつ配布した。
- ・学年で話し合いを進めている。

「始めていない」と答えた人

- ・まだ実感がわかないし、身をもって教えられると思っている。
- ・必然性を感じない。
- ・忙しいから。
- ・今までの内容を生かしていけばいいと思っている。
- ・学校の研修テーマになっていないので人任せ。
- ・他教科をこなすので精一杯。
- ・今まで力を入れてきたし、教科書に頼らず自分たちの研究したものを使っているのであわてることはない。この教科書では視点がずれている気がする。

(4) 小学生に性交を教える必要があるか。

ある (12) ない (1)

「ある」と答えた人

- ・性をマイナスにとらえないうちに科学的な知識として教えたい。心といっしょに伝えれば低学年ほどちゃんと受け止める。早く教えたからといって実行するものではない。子供達はどうしてもわからなかったことがわかったといっている。
- ・教え方はよく分からないが、「早く、正しく」がいいとおもう。
- ・子供達に必ず疑問として残ると思うから。 (4)
- ・自然なことだから隠す必要はない。動物の交尾とあまり変わりはないなと感心していた。
- ・4～5年で精通、初経、6年は性交かなと思う。独身の時は必要と思わなかったが、自分が結婚して初めて認識した。
- ・子供達の究極の疑問だから。しかしそれまでに性教育の積み重ねがないと難しい。
- ・高学年になって変に意識しないうちに。 (2)
- ・「生命の誕生」を教えるのに「性交」は省略できない。
- ・正しい知識と愛を学ぶために。

(5) あなたが考える性教育のメインテーマは何か。

- ・生命の誕生 (6)
- ・受精
- ・体の仕組み (4)
- ・男女の生理とその対処
- ・性交（避妊） (3)
- ・生命の尊重 (9)
- ・愛
- ・体と心の成長と変化 (5)
- ・男と女の違い (3)

- ・生命誕生の神秘性 (2)
- ・個人差
- ・コミュニケーション (2)
- ・異性を理解すること
- ・性差別（男女の共育共生） (2)
- ・家族 (2)
- ・労働
- ・自分の生き方
- ・他者への思いやり (3)
- ・性交、妊娠、出産

(6) いよいよ性教育が始まったと思うか。

思う (5) 思わない (8)

「思う」と答えた人

- ・なんらかの形で授業に組み込んでいかななくてはいけないと思うから。
- ・今まで男女のからだの仕組みとか図説もなかったし、生命誕生の部分がはっきりでているので少しは前進だと思う。しかしあくまで理科的要素であり心情部分を加えていかないと性教育にはならないと思う。
- ・教科書に位置付けられれば、各学年で系統立てて指導されると思うし、家庭の関心も深まるだろう。
- ・曖昧にされていたものに焦点が定まった。やろうという意欲が高まる。

「思わない」と答えた人

- ・教科書のことより教職員が意識を高め、内容を充実させていく期間が必要だから。
- ・以前からやっている。しかし全体で取り組むという方向ができてきたといえる。 (4)
- ・5年生では遅い。しかしこれまで何もしてこなかった人にはいいと思う。
- ・無理にすることはないと思うから。

(7) 小学生の性意識と性行動の問題点。

- ・言葉（セックスなど）が先行して面白半分に使っている。
- ・男らしく、女らしくが目につく。
- ・性的関心があるのに、こそこそとしている。
- ・高学年はポルノコミックを読んでいる。
- ・女性差別的なテレビ番組が多くて、影響されているような気がする。
- ・エロイという言葉が流行っている。
- ・ズボンずらし、金たまつぶし、スカートめくりなどを男の子がしても女の子が怒らない。それをみて性教育に力を入れようと決心した。
- ・すぐ男は男、女は女でまとまり、個性がないし、決め付けた言い方をする。
- ・異性同士で話していたら必ず冷やかされ、自然な付き合いができない。
- ・男女の筋力の差が理解できず、力任せに殴ったり蹴ったりする。体育でも女はへただといっでのけものにする。
- ・女は馬鹿じゃけん家事をするんじゃと男の子がいう。
- ・年々子供達に生活感がなくなり未熟な気がする。知識と成長がアンバランスだと思う。
- ・「好きだったらキスしていいのか」といって、行動に移す子がいる。
- ・テレビなどで性を笑いとしてしかとらえていなくて、その影響が見られる。
- ・性をいやらしいものととらえているようだ。男の子に多い。

(8) 性教育を進めていくうえで障害は何ですか。

□あなたの場合

- ・資料づくり

- ・恥ずかしさ。出産を経験して少し楽になった。
- ・中絶や避妊にも触れたいが、小学生にどこまで教えていいか判断がつかない。
- ・力量不足。学習不足。 (3)
- ・自分自身の学習の場がない。
- ・恥ずかしさ。日常会話にはあまりでてこない言葉もあり慣れていない。
- ・「性交」を教えたいが恥ずかしい。自分のなかにもタブー視しているところもある。どう教えていいか分らない。勉強不足とも言える。
- ・自分自身が性に関して解放されていない。男の子に精通を教えにくい。

□学校の場合

- ・親の考え方と学校の指導のギャップ。 (4)
- ・職員間の意識統一ができていない。 (3)
- ・教材、教具、資料などの予算がない。 (3)
- ・算数などの他の教科の方が大事という雰囲気。 (2)
- ・時間の確保。
- ・資料がない。
- ・担任まかせなので個人差がある。学校の研究テーマになりにくいので、準備の時間が取りにくい。

□社会的には

- ・興味本位にかきたてる情報。 (4)
- ・両親の関係。 (3)
- ・女性の人権を無視した風潮。 (2)
- ・テレビ番組。 (2)
- ・古い性意識。古い男女観。 (4)
- ・性の商品化。
- ・寝た子をおこすなという意識。

(9) 今一番欲しい教材は何ですか。

- ・性交の絵や図のはいった子供用の本。
- ・精密にかかれた絵本や写真の大きいもの。
- ・1年から6年までのモデルカリキュラム。
- ・新しいスライドやビデオ。
- ・人形。
- ・教師個人用の教材。子どもにすぐ説明できるように。
- ・文部省が出しているものではない系統的な教材。
- ・等身大の男性と女性の絵か模型。
- ・成長過程にそった胎児の模型。
- ・胎児の心音。

(10) 養護教諭にどんな協力をしてほしいか。

- ・資料づくり、資料提供。 (3)
- ・生理の手当てなどは従前どおり指導してほしい。 (2)
- ・共同作業してほしい。 (4)
- ・新しい情報を取り入れてマニュアルを作ってほしい。 (3)
- ・担任の相談役。 (2)
- ・遠慮しているところがあるから、積極的に関わってほしい。

(11) 管理職にはどんな協力をしてほしいか。

- ・保護者、地域への啓蒙。 (2)
- ・P.T.Aとの連携。
- ・研修予算の確保。
- ・教材研究時間の確保。 (3)
- ・「性教育」そのものに関心を持ってほしい。 (3)
- ・性教育予算の確保。 (2)
- ・男女差別に対する意識を高めてほしい。
- ・指導要領にとらわれないでほしい。
- ・研修の場を作ってほしい。
- ・学校全体の研究テーマとして取り上げてほしい。

(12) 教育委員会にはどんな協力をして欲しいですか。

- ・何も期待していない。
- ・予算を確保してほしい。 (6)
- ・資料提供。
- ・率先して性教育プロジェクトを作り、広い視点で考える場を。
- ・女性差別撤廃条約を自ら学習し、現場指導をしてほしい。
- ・学校を啓蒙してほしい。
- ・地域への啓蒙。
- ・学習会や講演会の開催。

(13) 医療関係者にはどんな協力をして欲しいですか。

- ・現場からの報告をききたいし、交流会を持ちたい。 (4)
- ・専門的知識を学びたい。 (3)
- ・要請できるものではない。
- ・講師を気軽に引き受けてほしい。
- ・産婦人科ばかりではなく、精神科医、小児科医などからの発言が欲しい。
- ・資料提供。(忙しいなかでは算数に時間を取りたい)

(14) 保護者にはどんな対応をしてほしいか。

- ・恥ずかしいとは思いますが、照れないで発達段階に合わせた対話をしてほしい。
- ・折に触れてその子の出産の時の喜びを伝えてほしい。
- ・学校でやっていることをよく掴んでおいてほしい。 (3)
- ・自分たちの夫婦のあり方などを見直しながら、子どもとともに学ぶ姿勢を持ってほしい。
- ・性の話ができるような人間関係を作ってほしい。 (2)
- ・性教育の授業内容は学級通信で報告している。一緒に読んで話し合っしてほしい。
- ・基本的に性教育は家庭ですべきです。
- ・もっと解放的な子育てをしてほしい。
- ・勉強ばかりでなく生活体験をたくさんさせてほしい。
- ・子どもが質問したら逃げないで欲しい。

(15) 自由記入

- ・性教育は特別なものではなく、子供達にとっては一番関心のあることだ。
- ・人間だけにとらわれず、あらゆる生物のなかの一部だという認識も必要。
- ・性教育は性差別の視点が必要。
- ・自分自身が豊かな性感覚をもっていないのが、一番苦しい。アメリカの性教育のテレビで、コンドームの使用法を説明したり、ペニスの実物大の模型が人種別に用意されていたのでびっくりした。
- ・今後も同僚に積極的に呼び掛けたい。男女混合名簿を一人だけで実行しているのも、男の子

が「なんで男が料理せんといけんの」とか「内ばきはお母さんが洗う」とか言って、女の仕事だと思っているところがあり、ますます性教育の必要性を感じている。

- ・人権・平和・同和・民族教育などたくさんやっているのに、性教育だけに力を入れられない。
- ・保護者からエイズを教えてほしいと要望がでた。学校が遅れを取らないよう学習を進めたい。
- ・10年間で現場も変わり、やりやすくなったところはある。性差の強調をする先生もあるが、道徳的に教えてほしくない。
- ・障害児への性教育も考えたい。
- ・子どもの心を育てるには、性教育はなくてはならないと思う。
- ・性差別文化を押さえない。
- ・「ひとりで、ふたりで、みんなと」という副読本はとて面白い。子供達も取合ながら読んでいた。
- ・中学の非行や妊娠を聞くにつけ、傷つく子どもがいないようにしたいし、男の子にも責任がとれる子にしたい。

面接（女性・40代・10名）

結婚歴	あり (8)	なし (2)				
教育歴	14年 (1)	15年 (2)	16年 (1)	20年 (2)	22年 (1)	24年 (1)
	25年 (2)					
現在の担任学年	1年 (1)	2年 (3)	3年 (2)	4年 (2)	5年 (1)	障害児 (1)

(1) 性に関する授業をしたことがあるか。

ある (8) なし (2)

☐テーマ

- ・わたしの生まれたとき
- ・男の子、女の子（体の違いを中心に） (3)
- ・お父さん、お母さん
- ・地球の誕生→生命の誕生→人類の誕生→自分の誕生
- ・赤ちゃん誕生、心の不思議

☐学年

1年 (1) 2年 (2) 3年 (1) 4年 (1) 5年 (2) 6年 (1)

☐回数

単発 (7) 疑問や男女差別に気が付いたらいつもする。 (1)

☐質問

- ・どういうふう子どもができ、生まれてくるのか。 (2)
- ・体毛がはえてくるのはどうしてか
- ・タマゴの大きさや男にも赤ちゃんの元があることに驚いていた。
- ・「お父さんの役割は、お金をもって帰る」「お父さんとお母さんがパッコンパッコンしたから僕ら生まれた」「赤ちゃんは、肛門から、お腹から、おしっこするところから生まれる」などといっていた。
- ・声がわりをしているのが大丈夫か。

(2) 改訂版保健、理科の教科書に目を通したか。

はい（保健だけ、1） いいえ (9)

「はい」と答えた人

- ・この教科書を使うと今より後退するのではないか。

(3) 準備をしているか。

始めている (1) 始めていない (9)

「始めている」と答えた人

- ・これまで全然やっていなかったので、学校として取り組むべく、委員会などを設けた。

「始めていない」と答えた人

- ・忙しい。

(4) 小学生に「性交」を教える必要があるか。

ある (7) ない (1) わからない (1)

「ある」と答えた人

- ・避けて通れない。低学年の時にサラッとやるべきかも。
- ・疑問には答えなくてはいけない。
- ・女の子は5、6年になると危険だ。その対応として考える。
- ・正しい知識として教えたい。興味本位にとらえないように。
- ・生命の仕組みに基づいた科学的な知識として教えたい。レイプ、ロリコン社会のなかで、自分の性器を守ることを強調したい。
- ・一番子供達が知りたいことだから。早い方がいい。 (2)

「ない」と答えた人

- ・性行為にとらわれず、生命の誕生に目を向けてほしいから。中学、高校でいいのでは。

「分からない」と答えた人

- ・時期を考えるべきだ。

(5) あなたが考える性教育のメインテーマは何か。

- ・男女平等 (2)
- ・体を大切にすること (3)
- ・生命の尊重 (5)
- ・生命誕生 (3)
- ・他者への思いやり (5)
- ・体のしくみと変化 (2)
- ・男女共生
- ・障害者との共生
- ・体の清潔
- ・第二次性徴
- ・妊娠・出産 (2)
- ・家族
- ・心の変化
- ・自分の歴史
- ・男性の性器、女性の性器

(6) いよいよ性教育が始まったと思うか。

思う (4) 思わない (6)

「思う」と答えた人

- ・「性交」には触れてないが、避けて通れなくなった。
- ・先生の意識をひきだせるきっかけになる。
- ・5年生では遅いと思うけれど。
- ・今まで全くやってこなかったの、これを機にやりたいと思う、評価している。

「思わない」と答えた人

- ・時間を取ってきちんとやることにはなると思うが、これまでと差がない。
- ・今まで取り組んできているから。 (3)
- ・問題が起こらないとしないだろうし、個人に任されている。
- ・「性交」まで教えていて、教科書より進んでいる。

(7) 小学生の性意識と性行動の問題点。

- ・身体検査などで裸になるのを嫌がる女の子がいる。
- ・スカートめくりをする子もいるが、注意する子も出てきて、今はなくなった。
- ・男女が手をつなぎたがらない。 (2)
- ・1年生の男の子が家にあるエロ本を持ってきた。
- ・興味本位。
- ・男がなんで痴漢になるのか理解できない。痴漢には気をつけてほしい。
- ・中学受験に親も子も目が向いていて、あまり関心がないようだ。
- ・レイプなどを描いた漫画を回し読みしている。
- ・性を健康的にとらえていない。

(8) 性教育を進めていくうえで障害はあるか。

☐あなたの場合

- ・自分自身が勉強不足。 (2)

- ・おしべ、めしべの時代に生きているから、自分自身解放されていない。
- ・個人差をどう教えるか悩んでいる。
- ・どこまで教えたらいいかが分らない。
- ・未婚なので、出産の喜びなど伝えにくい。
- ・他の教科で手いっぱい。時間に余裕がない。
- ・「性交」や性器をソフトに教える表現が見つからない。

□学校の場合

- ・保護者の対応。身体測定は1～6年まで着衣させているが、隠す必要があるのだろうか。
- ・教職員の意識の統一ができていない。
- ・教職員の研修が足りない。
- ・緊急課題ではないというムード。

□社会的には

- ・マスコミの性の取り扱い方が、人間の尊厳を無視した遊びになっている。
- ・性情報の氾濫と性教育のアンバランス。
- ・興味本位な性情報と環境。
- ・社会が子どもを育てる能力を失っている。性の節度が落ちている。
- ・性に対するタブー視。
- ・性教育に対する考えが家庭家庭で違う。早くから教えなくてもいいという人もいる。
- ・「性交」があまりにクローズアップされて、女の子が被害者になっている。性情報が子どもの目に入りやすい。例えばテレビでナプキンの宣伝とか。

(9) 性教育を進めていくうえで一番欲しい教材は何か。

- ・保健室や図書室でいつでも自由に見れる絵本。
- ・学年に応じたビデオ。
- ・実物大の模型。
- ・子どもの数だけクラスにおいて自由に見れる絵本。
- ・専門書。
- ・赤ちゃんの実物大の人形。
- ・紙芝居。

(10) 養護教諭にどんな協力がしてほしいか。

- ・性教育のリーダーシップを取ってほしい。
- ・情報、資料の提供。
- ・初潮の時の心理的フォローをしてほしいし、担任と密に連絡を取ってほしい。
- ・初潮指導。教員への指導。
- ・授業の進め方や子どもへの対応などの相談に乗って欲しい。
- ・健康面の手当て、管理でいいとおもう。性教育は担任がやるべきだ。
- ・いっしょに性教育プログラムを作ってほしい。
- ・授業は画一的になりやすいので、個々に対応してほしい。

(11) 管理職にはどんな協力をしてほしいか。

- ・予算の確保。
- ・黙って見守ってほしい。
- ・共に性教育を学んでほしい。
- ・PTA活動のなかに盛り込むような働きかけ。
- ・よく勉強をして、性教育の必要性を感じてほしい。
- ・教材、教具の充実。
- ・期待していない。
- ・時間の確保。

(12) 教育委員会にはどんな協力をしてほしいか。

- ・研修の場の提供。 (3)
- ・教職員のニーズを掴んでほしい。
- ・何も望みません。
- ・予算の確保。 (3)

(13) 医療関係者にはどんな協力をしてほしいか。

- ・出産など現場の話をしてほしい。
- ・専門的なアドバイス。
- ・意見交換や学習の場が欲しい。
- ・ボランティア精神をもって、教員の研修に応じてほしい。
- ・講演会にきてほしい。 (3)
- ・性教育相談窓口を作ってほしい。
- ・保護者への啓蒙。

(14) 保護者にはどんな対応をしてほしいか。

- ・学校でやっている内容を把握し、それに応じて家庭で話す機会を持ってほしい。 (2)
- ・大きくなったら分るなんて言わないで、子どもが納得できるよう対応してほしい。
- ・学校で勉強したことは肯定的に受け止めてほしい。 (2)
- ・初潮指導はしてほしい。ひとりで悩んでいる子がいる。
- ・男女平等な、自立心のある子に育ててほしい。
- ・明るくさり気なく話せる力量を持ってほしい。 (2)
- ・子どもと同じレベルの親が多いので、いっしょに学んでほしい。
- ・母子、父子、再婚などいろんな家庭があるが、生まれたことが大事なので、親もそこを乗り越えてほしい。

(15) 自由記入

- ・小学-中学-高校という流れのなかで、小学校の性教育を積み重ねていきたい。特に売春のことを考えると、男の子の性教育が大事だと思う。人権としての「性」というとらえ方で。
- ・性が快樂に向いているようで怖い。子どもへの悪影響を真剣に考えるべきだ。この状況をどこでストップさせたらいいか難しい。
- ・ごく一部の教師だけの関心になっている。それはなぜだろうか。なぜ人間が性をタブー視してきたかという歴史も教えるべきだ。秘密の部分も残しながら、子どもが大人になって謎解きすることも必要だ。
- ・自分自身が勉強不足なので、グループ学習をしながら早い段階から取り組みたい。子どもに性を素晴らしいものと受け止めるようにしたい。実際子供達は素直に受け止めている。大人の問題が大きいと痛感している。
- ・性教育=性交なのか。強調されすぎている。「人間としてどう生きるか」ということを教えたい。
- ・メカニズムと愛を平行して教えたい。
- ・母親との接触が少ないからか、先生のおっぱいやお尻に触る子がいる。こうした日々の出来事が性教育だと思うから、あまりカリキュラムにとらわれたくない。
- ・奥地圭子さんの性教育は説得力がある。「性と生」の対極「死」の教育も必要ではないのか。「死」の準備教育が、学校教育では足りないと思う。
- ・学校全体で取り組めば、やる気になる。

面接・男性（20代・5名）

結婚歴	あり（2）	なし（3）	
教育歴	3年（1）	5年（3）	7年（1）
現在の担任学年	4年（2）	5年（1）	6年（2）

(1) あなたは性に関する授業をしたことがあるか。

ある（3） ない（2）

「ある」と答えた人

- ☐テーマ ・私たちのからだ (2)
- ☐テーマ ・からだの成長（「子どもたちへ」を鑑賞）
- ☐学年 4年（1） 6年（2）
- ☐回数 単発（3）
- ☐質問 ・どうして赤ちゃんは生まれるのか。（ビデオでは精子と卵子が結びつくまでで、性交には触れてなくて疑問に残ったようだ）
- ・女子の方がなぜ成長が早いのか。
- ・知らないことをたくさん知ることができてよかった。という子もいれば、「なんでこんなビデオ見るの？」という子もいた。
- ・精子はどうやって卵子にたどりつくのか。

「ない」と答えた人

- ・低学年を担当していたから。それに養護教諭が野外活動の前に一斉にするから、担任がする必要はない。担任がするとバラツキがでて良くない。
- ・これまでの慣例で、養護教諭に任せていたので自分もそうした。

(2) 改訂版保健、理科の教科書に目を通したか。

はい（2） いいえ（3）

「はい」と答えた人

- ・小学校でここまで教えなくてはいけないのかと驚いた。
- ・今までの内容とあまり変わらない。（保健）

(3) 準備をしているか。

始めていない（5）

- ・慎重にしなければいけないから、自分の研修を積んだうえで考えたい。
- ・研修の場がない。
- ・来年度何年を担当するか分らないし、手も回らない。

(4) 小学生に「性交」を教える必要があると思うか。

ある（2） ない（2） わからない（1）

「ある」と答えた人

- ・中学生になると、他からの情報を得てしまっているので、小学生で正しい知識を教えるのが適切と思う。
- ・必ず必要であるとは思わないが、高学年になると疑問を持つようになるので誤魔化すよりはいいとおもう。

「ない」と答えた人

- ・社会的にタブー視されているものを小学生に教えるのは難しい。親の考え方も無視できないので。
- ・中途半端に教えてしまうと、性に対して変な興味、いやらしいイメージを植え付けてしまいそうで怖い。

「分からない」と答えた人

- ・クラスや学年の状況によって違うから。

(5) あなたが考える性教育のメインテーマは何か。

- ・初経、精通 (2)
- ・男女のからだの違い (2)
- ・生命の尊重 (2)
- ・家族の絆 (2)
- ・他者への思いやり (2)
- ・生命の誕生 (2)
- ・からだの成長 (2)
- ・からだの清潔 (2)
- ・男女差、個人差 (2)

(6) いよいよ性教育が始まったと思うか。

思う (1) 思わない (4)

「思う」と答えた人

- ・テレビ、新聞などの報道ぶりから。

「思わない」と答えた人

- ・以前からやっている。 (4)

(7) 小学生の性意識と性行動の問題点。

- ・女の子の意識が気になる。特に体育の時男女一緒だと着替えないとか、からだの変化をマイナスにとらえて、体育がいやになったりしている。性に関する話題が男子より多い。
- ・感じない。 (4)

(8) 性教育を進めていくうえで障害になるものは何か。

□あなたの場合

- ・何をどこまで教えるかという線引が難しい。 (2)
- ・恥ずかしさ、照れ。 (3)
- ・異性である女子への教え方が、実感がないので不安。 (2)
- ・これまでの実践例が、名人芸的要素が強いので、自分にできるかという不安。

□学校の場合

- ・学年間の連携。
- ・教師間の意志統一。

□社会的には

- ・保護者にも色々な考えの人がいるから、ここまでやるのかという反応がある。
- ・マスコミからの情報。
- ・性犯罪の低年齢化が性教育の必要性を生んでいるとも言える。

(9) 性教育を進めるうえで一番欲しい教材は何か。

- ・視聴覚教材。 (3)
- ・「今、なぜ性教育なのか」を説明できるテキスト。

(10) 養護教諭にどんな協力をしてほしいか。

- ・担任が男の場合、女の子のフォローをしてほしい。 (2)
- ・実践例の紹介。
- ・本音を言うとお任せしたい。そうもいかないので、保健室にすぐ使える教材、教具を設置しておいてほしい。
- ・専門家として、また女性の立場としてアドバイスしてほしい。
- ・積極的な資料提供。

- (11) 管理職にどんな協力がしてほしいか。
- ・教師の研修。
 - ・自由にさせてほしい。
- (12) 教育委員会にはどんな協力をしてほしいか。
- ・予算確保。
 - ・自由にさせてほしい。
 - ・研修の機会を作る。
- (13) 医療関係者にはどんな協力をしてほしいか。
- ・専門家の立場から教師の研修をしてほしい。 (2)
 - ・学校で何を教えているかよく把握し、子どもへの理解を深めてほしい。
- (14) 保護者にはどんな対応をしてほしいか。
- ・学校と家庭が食違いのないように、親も勉強してほしい。
 - ・ウソをつかないで。
 - ・子どもとのコミュニケーション。
 - ・性教育に関心を持ち、議論の輪に加わってほしい。 (2)
- (15) 自由記入
- ・欧米の性教育をみて違和感を感じるが、日本もやがてそうなるのだろう。性犯罪の防止という意味で、正しい知識は必要と思うが、どこまで教えていいものやら。
 - ・まだまだ自分のなかに「照れくささ、恥ずかしさ」がある。早くそこから脱したいなあと思っている。 (2)
 - ・マスコミと学校でも性の扱い方にギャップがある。マスコミには自粛してほしい。
 - ・異性への対応が難しい。特に独身の場合つい構えてしまいがち。
 - ・学校によって格差があるので、これを機に足並みが揃うことを期待する。

面接・男性 (30代・22名)

結婚歴	あり (20)	なし (2)				
教育歴	5年 (1)	6年 (1)	7年 (2)	8年 (3)	9年 (2)	10年 (4)
	11年 (1)	12年 (3)	13年 (2)	15年 (2)	17年 (1)	
現在の担任学年	1年 (1)	3年 (4)	4年 (2)	5年 (7)	6年 (5)	担任なし (3)

(1) 性に関する授業をしたことがあるか。

ある (20) なし (2)

「ある」と答えた人

☐テーマ

- ・誕生の仕組みとその喜び
- ・家族のなかのぼく、わたし
- ・めしべ、おしべ
- ・性交
- ・受精と性交、妊娠、出産 (2)
- ・体の変化 (2)
- ・男と女のからだの発達の違い (2)
- ・命の大切さ (2)
- ・生命の誕生 (2)
- ・体の発育と心の発達

☐学年

1年 (2) 3年 (3) 4年 (2) 5年 (9) 6年 (4)

☐回数

単発 (17) 恒常 (3)

☐質問

- ・射精は痛いんですか。
- ・月経は血がでるからいやだな。
- ・勃起するのはなぜか。
- ・赤ちゃんはどうして生まれるのですか。 (3)
- ・受精したときの卵の大きさ。
- ・どうして男の子と女の子は仲良くしなければいけないのか。
- ・赤ちゃんはお腹のなかでどのように成長するのか。食物、呼吸、排泄、運動など。 (2)
- ・心はどうして脳にあるのか。
- ・人を好きになったらどうして意地悪したくなるのか。
- ・精子はどうやって子宮に入るのか。 (3)
- ・障害者はどうして生まれるのか。
- ・女は必ず子どもを産まないといけないのか。
- ・双子はどうしてできるのか。 (3)
- ・赤ちゃんはどこからでてくるのか。
- ・性器を図解したのを見せた。最初はにやにやしていたが次第に真剣になった。
- ・へその緒の役割。
- ・どうして赤ちゃんはおちちを飲むのか。
- ・なぜお父さんは赤ちゃんを産まないのか。

「ない」と答えた人

- ・機会がなかった。
- ・養護教諭に頼んだ。「性」について深く考えていなかった。

(2) 改訂版保健、理科の教科書に目を通したか。

はい (6) 理科のみ (2) 保健のみ (2) いいえ (12)

「はい」と答えた人

- ・教科書ではこんなものだろうと思った。資料、教材、教具は自分たちで作らなけ

ればならない。

- ・教科書にこうしたものが記載されてきたのは良いと思った。ただ、現場にまかせっきりという感じ。
- ・「性教育」と呼ばれるだけの内容ではない。例えば、性器、性交、赤ちゃんがどこからでてくるのか明記されていない。また母性が強調されすぎて、これまでの男女の関係、役割がパターン化されている。個人差が軽視されている。
- ・ここまで来たのかと驚いた。
- ・あまり今までやってきたことと変わらない。
- ・理科は中途半端だと思った。科学的な内容とは言えない。個人差を掴んで保健と関連させながら指導していかなければ意味がないと思う。
- ・理科に関して、羅列的で生物としての流れを掴みにくい。
- ・内容が不十分で性教育としては使えない。裸の絵があれば性教育なのか。マスコミが騒ぎすぎ。
- ・おもしろい（保健）。

(3) 準備をしているか。

始めている (6) 始めていない (16)

「始めている」と答えた人

- ・新聞雑誌の関連記事の切りぬき。
- ・夫婦で教師。以前から徐々に資料を集めている。
- ・これまでの指導内容の再検討。
- ・教科書の内容検討。
- ・スライドなどの教材集め。

「始めていない」と答えた人

- ・忙しい。 (9)
- ・自分自身まだ性教育の方向性が掴めない。
- ・これまでのでなんとかなる。
- ・担任を持っていないから。 (2)

(4) 小学生に「性交」を教える必要があると思うか。

ある (18) ない (1) わからない (3)

「ある」と答えた人

- ・子供達に疑問として残っている。 (2)
- ・「性交」ぬきには子孫は残せないという観点から必要。
- ・生命の誕生を理解するには、性交、受精が必要。
- ・教える側も教えられる側も「性交」を知らないとすっきりしない。
- ・人間の愛と同時に欲望も避けられないこと。
- ・早いうちから正しいことを知っていたほうが良い。 (5)
- ・事実だから。
- ・自分自身も子どものころ知りたかったことだし、「性交」のイメージが歪んでいる子もいるから。
- ・避けて通れない。
- ・自分の生まれた原因を、人類の歴史のなかで教えていく必要がある。
- ・自分の誕生について理解できれば、命に真面目になれる。
- ・疑問、質問があればちゃんと教えるべきだ。しかし教え方が難しい。自信がないから、子どもも自分も照れがある。
- ・男子には責任感、女子には自分を守ることを教えたい。それまでに積み重ねがないと難しい。

「ない」と答えた人

・他の生物の生殖を通じて、自然に分るのではないか。一律に教えるのは難しい。
「分からない」と答えた人

- ・子どもたちは知りたがっているようなので必要かとも思うが、行為そのものを教える必要があるかどうか。
- ・小学校では早すぎるかなという迷い。
- ・教えるにくいところが乗り越えられない。

(5) あなたが考える性教育のメインテーマは何か。

- ・心と体の成長と変化 (9)
- ・男女の協力 (6)
- ・命の大切さ (1)
- ・自分を守ること (3)
- ・生きていく力を付けること (3)
- ・エイズ (2)
- ・生命の誕生 (8)
- ・情報の判断力 (2)
- ・男女のからだの違いと男女平等 (3)
- ・性交 (4)
- ・初経、精通 (3)
- ・性交（生殖、快楽も）
- ・避妊
- ・男らしさ、女らしさ
- ・生殖から見た人間の歴史 (2)
- ・子育ての責任
- ・生命誕生の仕組み（性交、受精、妊娠、出産） (3)
- ・性差別
- ・愛
- ・第二次性徴
- ・体の清潔
- ・男女のからだの違いとその役割

(6) いよいよ性教育が始まったと思うか。

思う (7) 思わない (12) 回答なし (3)

「思う」と答えた人

- ・やっと始まりました。
- ・5年生だけではなく、全学年にわたって性教育の授業をやるきっかけになる。
- ・これまではやらなくてもすんだが、義務化されたということ。教科書に忠実な人は避けて通れなくなった。
- ・理科という教科に導入されたから。
- ・あの内容だとやらざるをえないだろう。
- ・1～6年まで系統性を持たせるべきだ。
- ・本格的に取り組みはじめた。

「思わない」と答えた人

- ・以前からやっている。 (6)
- ・教える側の意識が問題になっていない。
- ・教科書で教えるのは難しい。自主教材が必要だ。
- ・子どもの疑問に答えていない。副読本が必要。
- ・日常的にするものだから。
- ・ステップは踏んだとは思いますが、性教育といえる内容ではない。下手をすると性差別的に利用

される可能性がある。(母性の強調)

(7) 小学生の性意識と性行動の問題点。

- ・正しい知識を持っていない。
- ・男女が仲良くすることを冷やかす。
- ・男らしさ、女らしさを身につけている。 (2)
- ・雑誌から得た言葉(セックス、ペニスなど)を男の子が女の子に書いてみせる。
- ・小学生の心の成長が遅くなっている。
- ・性器の掴み合い、パンツの下げあい、女の子に触る、毛を見せ合ったりする。遊びのなかでスケベ、エッチ、セックス、チンケン、してやろうかなどと担任のいないところで言っている。
- ・手をつなぎたがらない。男女が完全に別れている。
- ・子どもがすぐエロとか言うので、真剣に体のことを話し合えない。
- ・性教育に力を入れた成果がでていない。しかし大人になりたくない、大人は汚いと思う子もいるようだ。
- ・マスコミなどが言うほど子供達は進んでいない。性教育に力を入れると「寝た子を起こすな」と親から言われそう。
- ・女子は自分のことも男の子のこともよく知らない。
- ・性に関心は有りながら、図書室でこそそそ本などを見ている。
- ・異性として意識しすぎるきらいがある。
- ・教師のいないところで、アダルトビデオを話題にしたり、俗っぽい言葉でやりとりしている。
- ・大人向けの雑誌をよく見ているようだ。女性を性的対象としてみている。
- ・中学の男の子と小学生の女の子がキスをしたという情報があり、個人的に指導した。悪戯されたりした子もいるらしく、大人の男性をどう考えるか問題。
- ・ジャンプやリボンにも性描写があり、ストーリーのなかで理解するのではなく、部分的で、短絡的である。
- ・性器や避妊具の通称をよく知っている子がいて、友達に内緒で教えている。
- ・男の子は大変幼い感じで、性的関心が薄い。

(8) 性教育を進めていく上での障害は何か。

☐あなたの場合

- ・自分が男なので女の子が恥ずかしがるし、男の体験しかないで女の子には知識だけになる。 (2)
- ・直接的にセックスって何、なんて聞かれると構えてしまう自分がある。 (2)
- ・自分なかにもある「恥ずかしい、いやらしい」といった意識。 (2)
- ・教材をどう作っていくか。 (2)
- ・高学年になると個人差がでてくるので、どこに焦点をあてたらいいか困っている。
- ・子どもがどんな質問をしてくるか、何を言ってくるか分からないので、それに対応できるかどうか不安。
- ・独身の時は恥ずかしかったが、結婚して照れ臭さがなくなった。
- ・恥ずかしさがあったが、真剣にやれば子どもに伝わると確信した。自分自身「女のからだ」を意識していた。
- ・教育技術の不足。
- ・勉強不足。
- ・一般的な話ができるが、自分自身に関わってくると「恥ずかしさ」がある。

☐学校の場合

- ・とおりのことになりやすい。
- ・1年～6年までの系統的なカリキュラムが確立していない。 (5)
- ・性教育の意義を理解していない教員(特に40歳以上の男性)が多い。

- ・親のなかに性教育を理解してくれない人がいる。寝た子を起こすとか、算数が遅れるとか。
- ・大規模の学校なので、状況が掴めない。
- ・教職員、保護者の意識統一。 (3)
- ・学校の体制づくり。
- ・教材、教具の整備。
- ・単発的なので、授業の流れのなかでとらえにくい。
- ・主体的に推進する先生がいない。
- ・同僚と足並みをそろえないと、変人扱いされる。保護者自身が事なかれ主義で、閉鎖的。受験校でもある。

□社会的には

- ・家庭で性教育がされていない。 (3)
- ・性産業の存在。
- ・マスコミの歪められた多量な情報。 (8)
- ・一般的な性のタブー視。 (2)
- ・女性が性的対象物としてしか見られていない状況。それは私の中にもいくらもある。
- ・性教育の必要性が理解されていない。 (3)
- ・猥褻か倫理的か、どこで区別ができるのか。
- ・「性交」だけを取り上げる性教育報道。

(9) 性教育を進めるうえで、今一番欲しい教材は何か。

- ・だれでも教えられ、しかも要点を教えられるテキスト、ワークシート。 (2)
- ・視聴覚教材。 (2)
- ・性差別に関する小学生向けのテキスト。
- ・ビデオ（性交－受精－妊娠－出産）。 (2)
- ・男と女の模型あるいは人形。へその緒つきあかちゃん。 (3)
- ・系統的な性教育プログラム。ビデオもいいけど、教師の本音がでてきにくい。最後の確認にはいいとおもう。
- ・パズルようになった男女の模型。
- ・データ、数字、表。例えば、精子の大きさ、卵子の数など。子供達は数や表から多くの発想、想像、感動を持つ。
- ・良い絵本。
- ・ドラマじたてのビデオ教材。
- ・性交と心の発達をつなげていける教材。

(10) 養護教諭にどんな協力をしてほしいか。

- ・子どもが気楽に出入りできる場所であってほしい。そして、子どもの様子を担任に知らせてほしい。 (3)
- ・女の子への生理教育を含めた細かい点を担ってほしい。
- ・生活指導。
- ・教師への指導、助言。 (2)
- ・担任と連携を取りながら、クラスに応じた授業もしてほしい。特に担任が男の場合。
- ・指導内容をいっしょに作ってほしい。 (4)
- ・各学年のまとめ役。 (2)
- ・共同で進めていく気持ち。
- ・授業を参観して、アドバイスしてほしい。担任が気楽に相談できる人であってほしい。
- ・情報、資料提供。
- ・担任のやっている性教育のフォローを。たとえば養護教諭は女性なので、女性としての体験とか感性を話してほしい。

- (11) 管理職にはどんな協力をしてほしいか。
- ・保護者への啓蒙。 (3)
 - ・教材の準備、整備。 (4)
 - ・性教育の必要性を理解してほしい。常勤の養護教諭をおいてほしい。(私立)
 - ・同和教育の一貫として性教育をとらえてほしい。
 - ・性教育の必要性を理解してほしい。 (3)
 - ・予算の確保。
 - ・教師を信頼して、任せてほしい。
 - ・地域の啓蒙。 (2)
 - ・教材の準備時間を確保してほしい。
 - ・研修時間の確保。
 - ・教員の意志統一のまとめ役。
 - ・教師への援助、励まし。
- (12) 教育委員会にはどんな協力をしてほしいか。
- ・現場に結びついた性教育の手引きを作ってほしい。
 - ・地域社会への啓蒙。 (4)
 - ・予算の増額。 (5)
 - ・いつでも利用できる資料室づくり。
 - ・教材、教具、資料の整備。 (2)
 - ・学習会や講演会の開催。
 - ・実践資料集づくり。 (2)
 - ・期待していない。ただ邪魔をしないで。
 - ・性教育に関する研究会に出席した場合、出張扱いにしてほしい。
- (13) 医療関係者にはどんな協力がしてほしいか。
- ・保護者向けの性教育をしてほしい。
 - ・アドバイザーとしてバックアップをしてほしい。 (3)
 - ・専門的な最新情報を提供してほしい。 (4)
 - ・講師として現場の話をしてほしい。 (2)
- (14) 保護者にはどんな対応をしてほしいか。
- ・子どもの質問にはきちんと答えてほしい。 (4)
 - ・性交まで教えられる度量を持ってほしい。
 - ・とにかく前向きになってほしい。 (3)
 - ・学校、担任との対話。
 - ・自分たちの生き方を伝えてほしい。
 - ・性の問題に関わらず、もっとオープンに子どもと対話してほしい。 (3)
 - ・参観日や懇談会、学習会に積極的に参加してほしい。 (4)
 - ・学校で行なっていることをよく理解して対応してほしい。 (2)
 - ・子供達の不安や悩みを担任に伝えてほしい。そうすれば一人一人に対応できる。
 - ・自分の経験を話したり、勉強してほしい。
 - ・子どもに性に関する本を買ってほしい。
 - ・男らしさ、女らしさを植え付けないでほしい。
 - ・生理用品は「日用品」として扱い、隠すものという意識をつくらないで。
- (15) 自由記入
- ・現在は必要性を感じる人が試行錯誤でやっているのでもしんどい面があるが、たくさんの実践がでてくるなかで、一つの体系化を試みたい。

- ・学校全体が性教育の必要性を認め、積極的に取り組むようになった。
- ・小-中-高校とのつながりが見えないので、小学校でやったことがどうなのかが分からない。また、文部省が指導要領なんか出すと却っていいものにならないと思う。要求しすぎるのもよくない。今まで担任の個性でやってきたが、その方がいい面もある。そのバランスが難しい。「学校」という存在そのものを問う時期だ。
- ・性教育をしたほうが自分が楽になる。他の先生からも「男女の仲がいい」といわれる。教師が変われば子どもも変わることを確信した。今後もきちんとやっていきたい。日常的にはまだまだだが、少なくとも授業のなかでは自分の性をタブー視する気持ちがなくなった。
- ・女性差別や女性を性的対象物と見る意識があるが、性教育をしていくなかで解消できるのではないか。一般的に日本は遅れていると思う。

本校（似島）の取り組み。

- ①養護教諭が性教育の必要性をうたえる。
 - ②一人、二人と試みる教師が出現。
 - ③学年で取り組むことになり年間計画をたてる。
 - ④学年間の連携を取り始める。
 - ⑤学校全体の取り組みになる。（1～6年のプログラム完成）
- ・ぼくは性教育が好きだ。子どももよくくいついてくるから好きだ。子供達は科学的知識に感動する。子どもの感想「ぼくは社会が苦手だ。でももしべつの精子で受精していたら社会の得意な子になっていたかもしれない。でもそれは今のぼくではなくなる。社会が苦手でもぼくはぼくなんだね」。自分を肯定的にとらえられるようになった。自分に自信を付けさせる性教育がぼくは好きだ。
 - ・かたくならず、難しく考えず、気楽にやってみよう。
 - ・理科的なことだけでは味気ない。自分は望まれて生まれてきたんだといった情緒的なところから入って良かった。3年生から徐々にやる方がいい。保護者にも出産の時の感想などかいてもらい、関心を高めることも必要。
 - ・性教育は何も特別なものではなく、子どもにとって一番関心を持っていることだ。
 - ・文部省の指導要領に盛り込まれるのが遅すぎた。
 - ・教師としてではなく、一人の大人として、日常生活のなかで性に関わることが自然に話せるようにしたい。
 - ・「性」を人間の文化としてとらえていくことが大事、「男らしさ、女らしさ」「恥ずかしさ」などどうしてでてきたのか考えたい。
 - ・一時的には混乱するかもしれないが、積み重ねれば必ず理解されていくと思う。しかし、休憩時間など女の先生がお茶を入れたりする。男も女もそれが当たり前と思っているところがある。すべてが平等とは思わないが、トラブルが起きたらちゃんと解決することが必要だ。
 - ・今の性教育は「性交」とらわれすぎている。もっと心の発達に注目したい。エイズが広がっている事からみても、性交が快樂と結びついていて、性教育のなかの「性交」とずいぶんギャップがある。
 - ・学校の授業より、社会のさまざまな情報の方が面白いから、子供達はそれら吸収する。性教育だけではないが、教師も授業を面白くする必要がある。

- ・心と体の変化 (4)
- ・人間の誕生 (3)
- ・性差別
- ・男女の愛 (2)
- ・初潮教育
- ・性器の扱い方 (うんちの拭き方とか)
- ・動物の親子
- ・動物の誕生
- ・お父さん、お母さん
- ・性交
- ・理性と性

(6) いよいよ「性教育」が始まったと思うか。

思う (3) 思わない (2)

「思う」と答えた人

- ・今までやっていない人でも、やらなければならなくなった。 (2)

「思わない」と答えた人

- ・現場ではこれまでもやってきている。 (2)

(7) 小学生の性意識や性行動の問題点。

- ・ポイントタッチ、スカートめくり、「セックスしっとるか」など、男の子が女の子にいう。エロビデオ見せてくれ、といった子もいる。
- ・やたらと2年生で胸を隠す子がいる。
- ・男女の仲がぎくしゃくしている。
- ・コンドーム、セックスなど意味は分からないが、気になっている。

(8) 性教育を進めていくうえで障害になるものは何か。

□あなたの場合

- ・女の子に関して自信がない。
- ・施設、教具、教材が手元にないので、抽象的になりがちだ。
- ・男女役割の古い観念が自分のなかにある。家事を担うにもだいぶ時間がかかった。

□学校の場合

- ・そこまで学校がしなくてもという意識。「性教育用ビデオや本は保健室はいいが、図書室にはおかない」という感じ。時代の流れだとは思っているようで、予算は取ってくれる。
- ・教材の充実と時間の確保。(文部省の指導内では難しい)
- ・教職員、学年間の意志統一。(低学年からの積み重ねのうえで5年生の取り組みが生きてくる) (2)
- ・資料が少ない。

□社会的には

- ・「神秘のベールはかけといてくれ」「自然にわかってくる」といった親の無理解。
- ・マスコミの存在 (大人と子どもが同じものを見る状況)。
- ・ポルノコミック規制条令。
- ・マスコミの取り上げ方が「性交」強調しすぎている。男女共生社会に向けての位置付けが必要だ。

(9) 性教育を進めるうえで今一番欲しい教材は何か。

- ・「性交」を教えるための大きな絵図と人形。
- ・アニメーションビデオ
- ・人体模型

(2)

・視聴覚教材

- (10) 養護教諭にどんな協力をしてほしいか。
- ・主体的に授業をしている人なので刺激を受けている。
 - ・男性教師には生理の手当てなどはしにくいから、お願いしたい。また、1～4年生までに準備段階としてフォローしてほしい。
 - ・日常的な体の管理。
 - ・「女の先生に教えてほしかった」という女の子がいるので、いっしょに取り組んでほしい。
- (11) 管理職にどんな協力をしてほしいか。
- ・必要なし。
 - ・保護者の啓蒙。
 - ・予算の確保。
 - ・教職員のバックアップ。
- (12) 教育委員会にはどんな協力をしてほしいか。
- ・性教育は新しい分野なので予算なども力を入れてほしい。
 - ・研修体制を作る。(授業のモデルプランなど) (2)
 - ・教材の豊富な提供と時間の確保。 (2)
 - ・規制はしないで。
 - ・予算の増額。
- (13) 医療関係者にはどんな協力がしてほしいか。
- ・必要なし。
 - ・専門的資料の提供(特にエイズなど)
 - ・教師だけでなく保護者や子供達にも講演などで現場の話をしてほしい。
- (14) 保護者にはどんな対応がしてほしいか。
- ・学校で習ってきたことを根ほり葉ほり子供に聞き出さないでそっとしておいてほしい。しかし、子どもの様子が気になれば担任に連絡してほしい。
 - ・学校で教えたことを実り豊かにするのは家庭だから、そこを考えてほしい。
 - ・オープンに。
 - ・ちゃんと対応する人とそうでない人が半分半分。積極的に教えたほうがいいし、その様子を担任にきかせてほしい。
- (15) 自由記入
- ・教師のなかに男尊女卑の意識がまだ強い。性教育を「からだ」の問題としてとらえがちだが、男女のあり方という視点が欲しい。性教育＝人権教育という意識が教師には必要。そのためにも教える側の性教育が急務。男女混合名簿などに注目する人も少ないが、日ごろからこうした積み重ねが大事と思う。
 - ・男は性衝動に振りまわされるが、それをコントロールするのが人間であることを教えたい。

郵送アンケート集計

1. 男女内訳
全人数 62人 (男性 21人 / 女性 41人)
2. 結婚歴
あり 52人 なし 8人 不明 2人
3. 性に関する授業をしたことがあるか。
ある 51人 なし 11人
4. 改訂版保健・理科の教科書に目を通したか。
はい 16人 いいえ 42人 一部 4人
5. 来年度の準備をしているか。
始めている 19人 始めていない 36人 不明 7人
6. 小学校に性交を教える必要があるか。
ある 52人 ない 5人 わからない 2人 不明 2人
7. いよいよ性教育が始まったと思うか。
思う 24人 思わない 31人 わからない 4人 不明 3人

●女性（20代・1名）

結婚歴 なし（1）
教育歴 2年
現在の担任学年 4年

(1) 性に関する授業をしたことがあるか。

ある（1）

テーマ 大脳の働きと成長
学年 4年
回数 単発
質問 なし

(2) 改訂版保健・理科の教科書に目を通したか。

いいえ（1）

(3) 準備をしているか。

始めている（1）

・ 時間的に余裕がない

(4) 小学校に「性交」を教える必要があるか。

ある（1）

・ 雑誌などから間違った知識を得るよりは教えたほうが良い。

(5) あなたが考える性教育のメインテーマ

- ・ 生命の大切さ
- ・ 心と体の成長
- ・ 男女のからだの仕組み

(6) いよいよ性教育が始まったと思うか。

思う（1）

(7) 小学校の性意識や性行動の問題点。

- ・ テレビ番組の影響が大きく、ジョークの一つとして言葉にしたり体で表現する。そうすればみんなが笑うと思込んでいる。

(12) (13) 教育委員会、医療関係者にはどんな協力をしてほしいか。

- ・ 地域への啓発

以上の回答以外は白紙。

●女性 (30代・22名)

結婚歴	あり (19)	なし (2)	不明 (1)	
教育歴	10年 (2)	11年 (1)	12年 (2)	13年 (3)
	14年 (2)	15年 (3)	16年 (3)	17年 (1)
	19年 (1)	不明 (4)		
現在の担任学年	1年 (2)	2年 (2)	3年 (3)	4年 (8)
	5年 (4)	6年 (2)	不明 (1)	

(1) あなたは性に関する授業をしたことがあるか。

ある (18) ない (4)

「ある」と答えた人

- ☐テーマ
 - ・命の大切さ (3)
 - ・第二性徴 (初経、体と心の変化) (3)
 - ・男らしさ女らしさ
 - ・へそはなぜあるか
 - ・男の子女の子 (みんなで学ぶ初潮)
 - ・体のメカニズム (性交、受精、誕生)
 - ・パンツはなぜはくのか
 - ・男女の役割 (愛のある性交と愛のない性交)
- ☐回数 単発 (10) 恒常 (6) 不明 (2)
- ☐学年 1年 (1) 2年 (2) 3年 (3) 4年 (6)
- 5年 (5) 6年 (2)
- ☐質問
 - ・なぜ赤ちゃんをおろすのか。
 - ・エロ本はなぜあるのか。
 - ・赤ちゃんはどうしてできて、どこから生まれるのか。 (2)
 - ・へその緒はどうしてついているのか。 (2)
 - お腹の赤ちゃんは水の中に浮いているのか。
 - お腹を切って生まれてくる人とそうでない人がいるのはなぜか。
 - ・男のひとが使った便器に座ったら赤ちゃんができるのか。
 - ・もっといろいろ詳しく知りたい。 (2)
 - ・どうして卵子は赤ちゃんになるときとならないときがあるのか。
 - ・精子と卵子はどうやって結びつくのか。 (2)
 - ・結婚しなくても赤ちゃんはできるのか。 (2)
 - ・女の子には「初経、初潮」というのに男の子の初めての精通に呼び名はないのか。
 - ・月経の時には体はしんどいのか。

「ない」と答えた人

- ・学年で野外活動の前に映画を見たが、個人的にはない。
- ・機会がなかった。

(2) 改訂版保健・理科の教科書に目を通したか。

はい (3) いいえ (16) 一部 (3)

「はい」と答えた人の感想

- ・命の尊さや思いやりなどをプラスした指導と研究をしなくてはいけないと思った。(2)
- ・個人差のある子供達に教科書どおり教えたのでは却って不安が増すのではと思った。内容にとらわれず柔軟に対応したい。教師がもっと勉強しなくては。
- ・図や写真、絵が入っていて分かりやすいと思った。
- ・出版会社によって表記に違いがあり、むずかしい。不満が残る部分もある。

(3) その準備を始めているか。

始めている (8) 始めていない (12) 不明 (2)

「始めている」と答えた人

- ・ 本を呼んだり、資料集めをしている。 (7)
- ・ 講座、講演に参加している。
- ・ 養護教諭と連携を取り、学年に応じた計画を作成している。
- ・ 他校の実践例を集めている。

「始めていない」と答えた人

- ・ 教科書はあくまで手段。教師自身の姿勢にかかっているのであわてていない。
- ・ 時間に余裕がない。
- ・ まだ自分自身が未消化である。
- ・ 他の教科の研修でいっぱい。
- ・ 学校自身がしていない。

(4) 小学生に「性交」を教える必要があるか。

ある (20) ない (2)

「ある」と答えた人

- ・ 避けて通れないことである。 (3)
- ・ 子供が一番知りたいこと。子供の疑問に対してはきちんと対応しなくては
いけない。 (7)
- ・ 受精を教えるには「性交」も教えなくては分かりにくい。 (2)
- ・ これまでの積み重ねがウソになる。ただし性の知識や心の方をしっかりと押さえて
おくことが必要。
- ・ 情報化社会のなかで、歪められた情報を持つ危険性があるから。 (3)
- ・ 自分の命がどうしてできたのか知っておく必要がある。
- ・ 事実は教えるべき。そして早い方がいい。 (3)

「ない」と答えた人

- ・ 「ない」とは思わないが、「教えなければならない」とは思わない。性はもっと
幅広いもの。教師と子どもの信頼関係がどこまでできているのだろうか。
教師側だけの必要性で教えればいいというものではない。

(5) あなたが考える性教育のメインテーマは何か。

- ・ 命の大切さ (15)
- ・ 愛の大切さ (3)
- ・ 男と女のからだの仕組み (8)
- ・ 命の誕生の流れ (性交、妊娠、出産、子育て) (7)
- ・ 男女平等 (1)
- ・ 性情報の正しい認識を養う (2)
- ・ 初潮指導 (2)
- ・ 精通、マスターベーション (3)
- ・ エイズ (3)
- ・ 性交 (5)
- ・ 生命誕生の神秘性 (2)
- ・ 第二性徴 (体と心の発達) (3)
- ・ 男の子としての自覚と義務、女の子のからだの大切さ
- ・ 家族への愛
- ・ 生き方を考える
- ・ 体の清潔、下着の清潔
- ・ 自己主張のできる女の子、衝動をコントロールできる男の子

(6) いよいよ性教育が始まったと思うか。

思う (11) 思わない (9) 分からない (2)

「思う」と答えた人

- ・ テレビ・新聞で報道されているから
- ・ やっと文部省も必要性を感じたと思える。しかし1年生から系統的に教えるべき。
- ・ 学校や担任によって違って、いつ、どこから始めていいか分からなかったから。
- ・ 性教育を人権教育の一つとしてとらえたいと思うから。
- ・ 一応評価できる。時代の流れに押されたのでしょう。
- ・ 初経、精通、性交、命の誕生について記述があるから。
- ・ 正しい情報がもりこまれている。
- ・ これまでは唐突な感じがあったが、これで低学年から計画的にやりやすくなる。

「思わない」と答えた人

- ・ 以前からやってきた。 (5)
- ・ 学校や担任によって内容もねらいもバラツキが見られる。

(7) 小学生の性意識や性行動の問題点

- ・ 個人差が大きい。
- ・ テレビ、漫画、ビデオ、雑誌などの影響を受けて危険だ。
- ・ 「女のくせに」という男の子がいる。
- ・ セックス、勃起などのことばを興味本意におもしろおかしく使っている。 (6)
- ・ 「好き」という会話が増え、異性への関心が強くなっている。
- ・ ペニス、ワギナ、性毛などを恥ずかしいものとしている。
- ・ 授業中、茶化す子どもがいるのでやりにくい。
- ・ 仲のいい男女がいると冷やかしたり、特別視している。
- ・ 特になし。 (3)

(8) 性教育を進めていくうえで障害となるものは何ですか。

□あなたの場合

- ・ 恥ずかしい (4)
- ・ 勉強不足 (7)
- ・ 異性には踏み込みにくい
- ・ 研究時間がない (2)
- ・ 自信がない (エイズ、避妊など)
- ・ どこまで継続して取り組めるか
- ・ 保護者がどう受け止めるかという不安
- ・ 障害なし (3)

□学校の場合

- ・ 時間がない (3)
- ・ 他教科だけで手いっぱい (2)
- ・ 研修時間がとれない (2)
- ・ 教材、資料が少ない (2)
- ・ 管理教育
- ・ 系統的なカリキュラムがない
- ・ 教職員の意識のレベルに差がある
- ・ 障害なし (3)

☐社会の場合

- ・ 間違った情報の氾濫 (7)
 - ・ 根深い男女差別 (2)
 - ・ 性の商品化 (4)
- (9) 性教育を進めていくうえで、いま一番欲しい教材は何か。
- ・ 学年に応じたビデオ (4)
 - ・ 人体モデル（赤ちゃん、大人） (3)
 - ・ 実践校の記録 (2)
 - ・ 指導計画書 (2)
 - ・ 夢のある絵本 (2)
 - ・ VTR 大画面テレビ
 - ・ エイズの指導方法
 - ・ 外国の指導モデル
 - ・ 産院の様子ビデオ
 - ・ 胎児の育っていく様子が分かる模型やビデオ
 - ・ 男性による性体験の話（精通、思春期など）
 - ・ 紙芝居
- (10) 養護教諭にどんな協力をしてほしいか。
- ・ 教材づくりをしてほしい。 (4)
 - ・ 年間計画立案の相談に乗って欲しい。 (4)
 - ・ 情報、資料の収集をしてほしい。 (6)
 - ・ 家庭に向けて性教育に関する保健だよりを出してほしい。
 - ・ 子どもたち個々にきめ細かい対応をしてほしい。
- (11) 管理職にはどんな協力をしてほしいか。
- ・ 研修、研究時間の確保。 (3)
 - ・ 保護者と連携を取るための話し合いの場を設定してほしい。 (2)
 - ・ 予算を確保してほしい。 (4)
 - ・ 学校全体で取り組む体制づくりを。
 - ・ 後援会の企画（教員、保護者に）。
 - ・ 他校との連携を取ってほしい。
 - ・ 教材の整備、拡充を。
 - ・ 管理、規制をしてほしくない。
- (12) 教育委員会にはどんな協力をしてほしいか。
- ・ 活用できる資料を提供してほしい。 (2)
 - ・ 講演会をしてほしい。 (2)
 - ・ 予算を増額してほしい。 (2)
 - ・ 教材、備品の整備、拡充。 (2)
 - ・ 各研究会、講演会への参加奨励。
 - ・ 管理職へ圧力をかけないで。
 - ・ 期待できない。 (2)
 - ・ 地域の啓発をしてほしい。

(13) 医療関係者にはどんな協力をしてほしいか。

- ・ 講演を積極的にしてほしい。 (3)
- ・ 医療現場の情報を出してほしい。 (2)
- ・ 性教育相談窓口を作してほしい。 (2)
- ・ 詳しい資料、教材を提供してほしい。 (2)

(14) 保護者にはどんな対応をしてほしいか。

- ・ 一緒に学び、一緒に語り合してほしい。 (4)
- ・ オープンに子どもの誕生の時のことを話してほしい。 (4)
- ・ 子どもの質問に、性交も含めて逃げないで答えてほしい。 (3)
- ・ 学校で教えたことを、個人に応じてフォローしてほしい。
- ・ 教師の教えたことと食い違わないようにしてほしい。
- ・ 自分の子どもがどの程度の性知識を持っているかつかんでほしい。
- ・ マスコミの情報に正しいコメントを。

(15) 自由記入

- ・ 自分の受けた性教育は、小学校高学年に女子だけ体育館に集められて何か映画を見ただけだ。「おしべとめしべ」と「生理用品」のつながりが分からず、「とにかく男のひとには言えないことなんだ」と思った。ちゃんと科学的に教えてもらった方が良かった。さまざまなメディアで大人の人の興味本位なものが氾濫していて、成長の過程で子供達は揺れ動いている。中途半端なことだけはしたくない。
- ・ 望まない妊娠や誕生もあることをどう教えたらいいか、初潮指導の時「お母さんになる準備」として教えると、「女性はすべてお母さんになる」ことになり、母親にならない女性の存在をどう教えたらいいか、悩んでいる。
- ・ やがてくる自分の体の変化に、いまいち子供達の関心が薄い。月経や精通も他人ごととして受け止めている。自分の問題として受け止めるようにするにはどうしたらいいのだろう。繰り返し指導する必要があるようだ。
- ・ 女性を性的対象物としてしか見ない男社会にあって、女性を大切にできる社会であってほしい。とにかく性に対して早めに正しいことを教えたい。
- ・ 子どもは素直でさわやかに吸収してくれる。最初のころ戸惑っていたが、それは私がきちんとした性教育を受けていなかったからだろう。
- ・ 教師自身の姿勢が大切だから、しっかり研究し授業をしたい。
- ・ 性教育の前提は、教師と子どもとの信頼関係だと思う。

女性 (40代・14名)

結婚歴	あり (12)	なし (2)		
教育歴	15年 (1)	17年 (1)	18年 (2)	19年 (1)
	20年 (2)	21年 (2)	22年 (1)	23年 (1)
	26年 (2)	26年 (1)		
現在の担任学年	1年 (3)	2年 (3)	3年 (3)	4年 (2)
	5年 (2)	6年 (1)		

(1) あなたは性に関する授業をしたことがあるか。

ある (11) ない (3)

「ある」と答えた人

□テーマ

- ・わたしの誕生日
- ・からだの清潔
- ・男の子、女の子
- ・テレビとわたしたちの生活
- ・生命の誕生 (2)
- ・心とからだの成長
- ・第二次性徴
- ・異性への関心
- ・からだを知ろう (2)
- ・命を大切にする子ども

□回数

単発 (7) 恒常 (3) 不明 (4)

□学年

1年 (1) 2年 (2) 3年 (2) 4年 (2)

5年 (2) 6年 (2) 不明 (2)

□質問

- ・どうしてからだは成長するのか。
- ・どうやって赤ちゃんが生まれるのか。
- ・男子と女子はどうして違いがあるのか。
- ・精子と卵子はどうやって合体するのか。

「ない」と答えた人

- ・授業としてはやったことはないが、学級指導では随時やっている。
- ・養護教諭に依頼した。

(2) 改訂版保健、理科の教科書に目を通したか。

はい (1) いいえ (12) 一部 (1)

「はい」と答えた人

- ・5年生だけに限定されるようになり、これでいいのかと思った。
- ・内容に不十分なところがある。

(3) 準備をしているか。

始めている (3) 始めていない (7) 不明 (4)

「始めている」と答えた人

- ・関連した新聞記事や雑誌を集めている。
- ・4年生で性教育の授業を組み入れた。
- ・教材研究をしている。

「思う」と答えた人

- ・ スタートラインにたったのは確か。これから深まると思う。
- ・ 新指導要領がでたから。
- ・ 教科書に性の単元があるから。

「思わない」と答えた人

- ・ 以前からやっている。 (6)
- ・ 性教育の内容および具体的方法が不十分。

(7) 小学生の性意識や性行動の問題点。

- ・ 中、高校生の悪影響を受けている。
- ・ お互いの思いやりがない。
- ・ 性意識と性行動がアンバランス。
- ・ 性的な言葉を面白おかしくふざけていう。
- ・ 性への関心が異常に高い。
- ・ 着替えの時など、好奇心をもって異性を見ている（高学年）。
- ・ 仲の良い男女がいると冷やかす。

(8) 性教育を進めるうえで障害になるものは何か。

あなたの場合

- ・ 自己研修時間がとれない。 (2)
- ・ 表現力不足。
- ・ 自分自身が解放的でなく、身構えるところがある。 (3)
- ・ 勉強不足。 (2)
- ・ 何をどのように指導していいか分からない。
- ・ 自分の経験が少ないので不安。

学校の場合

- ・ 学年、学校全体で取り組む意欲がない。 (4)
- ・ カリキュラム、教材が不十分。
- ・ 家庭環境によって性意識に差がある。それをどう補完していくか難しい。
- ・ 男性教員の意識（彼ら自身も興味本位にとらえている）。
- ・ 研修時間の確保が難しい。 (2)

社会的には

- ・ 性のタブー視。 (3)
- ・ 興味本位の性情報。
- ・ 家庭の対話不足。学校任せが多い。 (2)
- ・ 性の商品化。

(9) 性教育を進めるうえで、今一番欲しい教材は何か。

- ・ 新しいビデオ
- ・ 指導書、副読本 (4)
- ・ 紙芝居、モデル人形

(10) 養護教諭にどんな協力をしてほしいか。

- ・ 資料、教材の提供 (2)
- ・ 学年ごとの年間計画
- ・ 校内研修
- ・ 性教育のモデル授業
- ・ 気軽に子どもが相談できるような場所に。 (2)

(11) 管理職にはどんな協力をしてほしいか。

- ・ 研修時間の確保
- ・ 前向きな姿勢を持ってほしい
- ・ 予算の確保
- ・ 研修の場づくり
- ・ 男性の立場から積極的に関わってほしい。

(12) 教育委員会にはどんな協力をしてほしいか。

- ・ 地域社会の啓発
- ・ 予算の確保
- ・ 保護者の啓発
- ・ 指導テキストの作成
- ・ 研修の場づくり
- ・ 実践例の紹介

(13) 医療関係者にはどんな協力をしてほしいか。

- ・ 保護者への講演 (3)
- ・ 専門家としての資料や指導方法の提供 (4)
- ・ 出産シーンのビデオづくりがしたいので協力を。
- ・ 現場で出会う子供達の実態を知らせてほしい。
- ・ 社会の啓発

(14) 保護者にはどんな対応をしてほしいか。

- ・ 子供が質問をしたらきちんと答えてほしい。
- ・ いっしょに考えていく態度。
- ・ しつけと同じレベルで、家庭教育の中に性教育も含めてほしい。
- ・ 学校と歩調を合わせた指導と対話。 (2)
- ・ オープンな雰囲気づくり。
- ・ 学校からの配布物には目を通すこと。

(15) 自由記入

- ・ 性差別という視点で考えたい。
- ・ 単発ではなく、継続性を持たせたいが、なかなか。
- ・ 性教育の指導にあたる者によるところが大きく、奥深いものだと思う。
- ・ 避妊教育は学校ですべきではないが、現実には、中高生の妊娠が多く困っている。
- ・ 自分自身性教育を受けていない中で不安感を持った覚えがあり、こうした動きは好ましい。
- ・ 表現の自由とはいえ、子供達への影響は大きすぎる。ことに漫画の性的表現、全裸に近いもの、性器を粗末に扱ったものなど。

女性 50代(4名)

結構歴	あり (3)	なし (1)	
教育歴	29年 (2)	33年 (1)	34年 (1)
現在の担任学年	1年 (2)	2年 (1)	5年 (1)

(1) 性に関する授業をしたことがあるか。

ある (4)

「ある」と答えた人

□テーマ

- ・からだの清潔
- ・大切ないのち
- ・男の子女の子のからだと心

□学年 1年 (1) 2年 (1) 5年 (2)

□回数 単発 (2) 恒常 (1) 不明 (1)

□質問

- ・赤ちゃんはどこから生まれるのか。
- ・精子と卵子はどうやって合体するのか。
- ・からだはどうして変化していくの。
- ・双子にはへその緒がふたつあるのか。

(2) 改訂版保健、理科の教科書に目を通したか。

はい (1)

いいえ (3)

「はい」と答えた人

- ・生命誕生の仕組みは分かるが、新しい命の始まりである性交についてと、性器の名称が具体的ではない。

(3) 準備をしているか。

始めている (1)

始めていない (2)

不明 (1)

「始めている」と答えた人

- ・学年に応じた年間計画をたてるための学習を進めている。

「始めていない」と答えた人

- ・来年度の準備をする余裕がない。

(4) 小学生に性交を教える必要があると思うか。

ある (2)

ない (2)

「ある」と答えた人

- ・いろんな情報から、興味本位な関心を持っているから、本当のことを伝えたほうがいい。十代の妊娠、中絶が増えている事実からも。
- ・子供達の成長が早い。命を大切に作る人間になってほしいから。ただ、発達段階により指導内容を変えること。

「ない」と答えた人

- ・具体的すぎる。
- ・からだの変化や生命の尊さを中心にすればいい。

- (5) あなたが考える性教育のメインテーマは何か。
- ・ 生命の誕生 (3)
 - ・ 性差
 - ・ 第二次性徴
 - ・ 生命の尊重
 - ・ からだの清潔 (2)
 - ・ 男女交際
 - ・ 男のからだ、女のからだ (3)
 - ・ 性交

- (6) いよいよ性教育が始まったと思うか。
- 思う (1) 思わない (2) 不明 (1)
- 「思わない」と答えた人
- ・ 以前から実践している。

- (7) 小学生の性意識や性行動の問題点。
- ・ 興味本位な雑誌を読んでいる。
 - ・ 性的な言葉を誇張して話す。

- (8) 性教育を進めるうえで障害になるものは何か。
- あなたの場合
- ・ 自分自身が解放されていない。
 - ・ どう指導していけばいいか、自分の確信がない。
 - ・ 資料不足。

- 学校の場合
- ・ 家庭の理解がえていない。
 - ・ 全職員の意識統一。
 - ・ 子どもの育った環境によって意識差がある。どこにポイントを置くか、そこが難しい。

- 社会的には
- ・ テレビや雑誌の情報。

- (9) 性教育を進めるうえで今一番欲しい教材は何か。
- ・ スライド、ビデオ
 - ・ 副読本「からだと心の成長」(教育同人社)
 - ・ 児童、保護者向け図書
 - ・ 男らしさ、女らしさを持ちながら男女が助けあい生活していくことが伝えられるような何か。
 - ・ 心とからだの発達に応じた生活のあり方を書いたもの。

- (10) 養護教諭にはどんな協力をしてほしいか。
- ・ カリキュラム作成
 - ・ 資料の提供
 - ・ からだの発達の指導
 - ・ 授業のアドバイス

- (11) 管理職にはどんな協力がしてほしいか。
- ・ 保護者への啓発 (2)
 - ・ 授業のアドバイス
 - ・ 講演など研修の機会をつくる
 - ・ 条件整備 (教材、資料、予算など) (3)
- (12) 教育委員会にはどんな協力をしてほしいか。
- ・ 性教育資料作成委員会を設置し、各校共通のカリキュラムをつくる。
 - ・ 実践校を交えて交流会を企画してほしい。
 - ・ 教材、教具、資料の整備。
 - ・ 実践校の紹介。
 - ・ 講演会など研修の場を作る。
- (13) 医療関係者にはどんな協力をしてほしいか。
- ・ 家庭教育学級を開設し、保護者に性教育を学習する機会を作る。
 - ・ 高学年には、専門家として直接話をしてほしい。
- (14) 保護者にはどんな対応をしてほしいか。
- ・ 学校の指導内容を理解し、連携を取ってほしい。
 - ・ 子どもの悩みを正面から受け止め、きちんと答えてほしい。
 - ・ 親も勉強し、子どもに返してほしい。
- (15) 自由記入
- ・ 「キス」「交尾」「好き」「結婚したい」などと面白がっていている。性器をいじったり、見せたりする子がいる。また「浣腸」といってお尻を急に触る子がいる。こんな状態をみると、早くから性教育をしたほうがいいと思う。
 - ・ 子どもの立場にたったテレビや雑誌を考えてほしい。

●男性 (20代・2名)

結婚歴	あり (1)	なし (1)
教育歴	4年 (1)	5年 (1)
現在の担任学年	5年 (2)	

(1) あなたは性に関する授業をしたことがあるか。

	ある (2)
<input type="checkbox"/> テーマ	・性は恥ずかしいものではない。
<input type="checkbox"/> 回数	単発 (2)
<input type="checkbox"/> 学年	5年 (2)
<input type="checkbox"/> 質問	なし

(2) 改訂版保健・理科の教科書に目を通したか。

	はい (2)
	・カラーの胎児の写真などあって分かりやすい。
	・ある程度理解はできるが、これでいいのか不安が残る。

(3) その準備を進めているか。

	始めている (2)
	・頭のなかでは構想はあるが具体的になっていない。

(4) 小学校に「性交」を教える必要があるか。

	ある (2)
	・テレビ・ラジオ・雑誌からはあまりに片寄った性情報しか子供達に伝わらないから。
	・性教育をしていくうえで避けて通れないから。

(5) あなたが考える性教育のメインテーマは何か。

・ 生命の誕生	(2)
・ 体と心の変化	(2)
・ 子孫繁栄のための性交	
・ 初経と精通	
・ エイズ	
・ 男女仲の良いクラスづくり	

(6) いよいよ性教育が始まったと思うか。

	思う (1)	思わない (1)
「思わない」と答えた人		
	・ 今までも多少やってきている。	

(7) 小学生の性意識や性行動の問題点

- ・ 性は気持ちの悪いもの、変なものとしてとらえている。
- ・ 性交、性器などを口にするのは恥ずかしいことととらえている。

(8) 性教育を進めていくうえで障害となるものは何か。

□あなたの場合

- ・離婚した家庭の子に「愛－結婚－性交－出産」を教えにくい。
- ・女性のことを十分理解していない。

□社会的には

テレビ・雑誌

(9) いま一番欲しい教材は何ですか。

- ・VTR
- ・心の変化を分かりやすく説明できるもの。

(10) 養護教諭にどんな協力をして欲しいですか。

- ・女性の立場として、初潮の時の気持ちとか、出産の体験談など話してほしい。
- ・女の子への適切な指導を。

(11) ～ (13) まで回答なし

(14) 保護者にはどんな対応をしてほしいか。

- ・恥ずかしがらずざっくばらんに話してほしい。
- ・本音で語ってほしい。

(15) 自由記入

- ・女の子の保護者から月経のあるなしを十分にきけない。子どもへの対応の仕方があるので是非教えてほしい。

(4) 小学生に「性交」を教える必要があるか。

ある (9) わからない (1) 不明 (1)

「ある」と答えた人

- ・ 性交は自然なことであり、生命の大切さを教えることでもある。 (5)
- ・ 外部からの情報入手は誤解が多いので、正しい理解をさせる必要がある。早い方がいい。 (5)
- ・ 人間の生き方の一つだから。 (2)
- ・ 受精を学習するうえで避けて通れない。 (2)
- ・ 隠す必要がないから。 (2)

「分からない」と答えた人

- ・ 「性交」を教える前に心や生命尊重のところをどう押さえるか、課題が多すぎる。

(5) あなたが考える性教育のメインテーマは何か。

- ・ 生命尊重 (4)
- ・ 生命の誕生 (6)
- ・ 受精 (2)
- ・ 性病 (2)
- ・ 妊娠、出産のメカニズム (2)
- ・ 愛（恋愛も） (2)
- ・ 性器 (5)
- ・ 女性差別 (5)
- ・ 性交 (5)
- ・ 体と心の成長 (3)
- ・ 男女の協力 (3)
- ・ 体の清潔 (3)
- ・ 初潮 (3)

(6) いよいよ性教育が始まったと思うか

思う (4) 思わない (7)

「思う」と答えた人

- ・ 文部省も少しは考えだしたと思うから。

「思わない」と答えた人

- ・ 以前からやってきている。内容も変わらない。 (3)
- ・ 生物学上の学習でしかない。

(7) 小学生の性意識と性行動の問題点

- ・ 女の子に性器をみせる低学年の男の子がいる。
- ・ 女の子に抱きつく高学年の男の子がいる。
- ・ 性に関する落書を面白がってやる子どもが出てきた。
- ・ 「好き」ということをはっきりいう子がいる。
- ・ 興味本位の言動がたまに見られるが、特別問題とは思わない。
- ・ ことばの上だけのおもしろがっている。
- ・ 性意識を隠そう（罪悪視）とする傾向がある。
- ・ メンスとかバージンとか妊娠とかがおもしろ半分に使われている。

(8) 性教育を進めていくうえでの障害は何か。

□あなたの場合

- ・羞恥心 (2)
- ・多忙さ
- ・性教育というものを自分が受けていないこと。勉強不足。 (2)
- ・資料、教材がない。
- ・高学年の女の子とコミュニケーションができない。
- ・いつから始めていいかわからない。

□学校の場合

- ・他教科との連携をどう作っていくか。
- ・保護者の理解をどう進めるか。
- ・性教育の必要性の認識がない。
- ・資料、教材がない。
- ・教職員の意識の差。
- ・体制づくりをどうするか。

□社会的には

- ・マスコミの影響。 (2)
- ・風俗産業などの環境。
- ・家庭できちんとされていない。
- ・大人自身の性意識（いやらしい）。
- ・性犯罪。

(9) 性教育を進めていくうえで、いま一番欲しい教材は何ですか。

- ・超音波による受精から胎児の発達過程が見れるもの。
- ・性教育の実践例集。
- ・男女の人形（北欧で使われているもの）。
- ・ビデオ (5)
- ・男女の共育共生のイデオロギー

(10) 養護教諭にはどんな協力をしてほしいか。

- ・性教育の推進役になってほしいけど、どうして養護教諭は女性ばかりなのでしょう。 (2)
- ・適切な資料提供。
- ・女の子への個人的指導や相談に乗って欲しい。
- ・テキストやいろんな実践集を作ってほしい。
- ・たえず綿密な連携を。
- ・適切なアドバイスを。

(11) 管理職の人にはどんな協力をしてほしいか。

- ・教職員の研修の場をたくさん作ってほしい。
- ・他校の具体的な実践の情報を紹介してほしい。
- ・予算の確保をしてほしい。
- ・家庭への啓蒙をしてほしい。
- ・教材研究のための時間を確保してほしい。

(12) 教育委員会にはどんな協力をして欲しいか。

- ・ 現場に圧力をかけないでほしい。 (4)
- ・ 予算を増額してほしい。 (4)
- ・ 教育委員会にもっと女性を登用せよ。 (2)
- ・ 地域社会の啓発。 (2)
- ・ 教師向け、子ども向けのテキストづくり。

(13) 医療関係者にはどんな協力をしてほしいか。

- ・ 講演を引き受けてほしい。
- ・ 子どもに話をしてほしい。

(14) 保護者にはどんな対応をしてほしいか。

- ・ 「男らしく、女らしく」の躰けはしないでほしい。 (2)
- ・ 子どもの質問には逃げないで答えてほしい。 (2)
- ・ 子ども自身に子育ての苦勞や喜びなどを語ってほしい。
- ・ 学校だけに任せないで、家庭でもしてほしい。
- ・ 子どもの質問に答えられなかったら、教師に尋ねてほしい。 (2)
- ・ 一緒に学習するという態度。 (2)
- ・ 教師にどんどん発言してほしい。

(15) 自由記入

- ・ もっと時間を取りたいと思っているのですが。
- ・ 性教育の学習を自分がしていないので、子どもに何を指導すればよいか分からないので、「いのちありがとう」(大阪同和教育研、健康保障専門委編)を読んだりした。実践する前に自分のなかにある「性」について整理する必要があると思う。教職員にまだ力量がないので間違った性教育をしてしまうのではないかと大変不安です。
- ・ 「性交」をいつ教えればよいか分からなかったが、今回授業をしてみて低学年で教えたほうが良いと思った。そのためにも1~6年までの系統的なカリキュラムの必要性を感じた。
- ・ 性教育が「性」に関する知識だけに片寄るのではなく、男女の共育共生へ向けて、男女差別の視点も入れていく必要がある。

●男性（40代・5名）

結婚歴	あり（5）			
教育歴	15年（1）	18年（1）	19年（2）	21年（1）
現在の担任学年	4年（3）	6年（2）		

(1) 性に関する授業をしたことがあるか。

- ある（5）
- ☐テーマ
- ・ 命の尊さ
 - ・ 体の成長
 - ・ 第二性徴
- ☐学年
- 4年（3） 5年（1） 6年（1）
- ☐回数
- 単発（4） 恒常（1）
- ☐質問
- ・ このごろちょっとしたことでおこりっぽくなるのはなぜか。
 - ・ 異性のからだの変化がよく分からない。
 - ・ お母さんから生まれたのに、なぜお父さんに似ているのか。

(2) 改訂版保健、理科の教科書に目を通したか。

はい（3） いいえ（2）

「はい」と答えた人

- ・ 絵や図が多いのでいいとおもう。
- ・ もっと系統性を持たせた内容が欲しい。
- ・ かなり詳しいと思った。視覚的なもので教えたほうがいいのでは。

(3) 準備をしているか。

始めている（4） 始めていない（1）

「始めている」と答えた人

- ・ 養護の先生と情報交換をした。

「始めていない」と答えた人

- ・ 忙しい
- ・ 教科書の比較をただで内容を検討していない。

(2)

(4) 小学生に「性交」を教える必要があるか。

ある（3） どちらともいえない（1） ない（1）

「ある」と答えた人

- ・ 人間尊重を教えるために必要である。
- ・ 情報の氾濫から子どもを守るため。
- ・ 低学年で昆虫などの交尾を学習しているから自然だと思う。

「どちらとも言えない」と答えた人

- ・ 「性交」だけを取り上げるのは誤解を生むと思う。体の成長、生命の誕生を科学的に学習させる過程では避けて通れないと思う。慎重にすべきだ。

「ない」と答えた人

- ・ 早すぎると思う。

- (5) あなたが考える性教育のメインテーマは何ですか。
- ・ 生命の尊重 (2)
 - ・ 男女相互の理解
 - ・ 男女身体の発達とその違い (2)
 - ・ 体の清潔
 - ・ 生命の誕生 (2)
 - ・ 第二性徴
 - ・ 男子の生理、女子の生理
- (6) いよいよ性教育が始まったと思うか。
- 思う (2) 思わない (3)
- 「思う」と答えた人
- ・ 教科書のなかにきちんと位置付けられたから。 (2)
- 「思わない」と答えた人
- ・ 以前からやっている。 (2)
- (7) 小学生の性意識や性行動の問題点。
- ・ たくさんの情報に囲まれて、一見「よく知っている」と思われるが、それは断片的で興味本位である。それだけに正しい知識を与える必要がある。 (2)
- (8) 性教育を進めるうえで障害になるものは何ですか。
- ☐ あなたの場合一
 - ・ 羞恥心
 - ・ 時間の確保が難しい。
 - ・ 資料が不十分。
 - ☐ 学校の場合
 - ・ 学校全体の意志統一が難しい。 (2)
 - ☐ 社会的には
 - ・ 性をタブー視する風潮
- (9) 性教育をすすめていくうえで、いま一番欲しい教材は何か。
- ・ ビデオ (2)
 - ・ 各学年に応じた読み物、ビデオ、解説書。
- (10) 養護教諭にはどんな協力をしてほしいか。
- ・ 資料の提供、教材づくり。
 - ・ 性教育カリキュラムの立案。
 - ・ 女の子のことをやってほしい。
- (11) 管理職にはどんな協力をして欲しいか。
- ・ 全校で取り組むための体制づくり。
- (12) 教育委員会にはどんな協力をしてほしいか。
- ・ 保護者、地域への働きかけ。
 - ・ 教材や資料の紹介。
- (13) 医療関係者にはどんな協力をしてほしいか。
- ・ 学校との連携を密に取ってほしい。
 - ・ 学校保健委員会などへの働きかけをしてほしい。

(14) 保護者にはどんな対応をして欲しいですか。

- ・ 恥ずかしがらずに子どもに話をしてほしい。
- ・ 学校の指導にそった理解をしてほしい。
- ・ 本を読ませたりして予備知識を与えてほしい。
- ・ 逃げないで欲しい。

(15) 自由記入

- ・ 雑誌からの情報でいろんなことをよく知っているので、エッチというとならえ方を拭い去ることはできないと思っている。

●男性 (50代・3名)

結婚歴 あり (3)
 教育歴 30年 (3)
 現在の担任学年 1年 (1) 3年 (1) 4年 (1)

(1) 性に関する授業をしたことがあるか。

ある (3)

「ある」と答えた人

□テーマ

- ・体の器官の正しい名称
- ・体の成長と変化
- ・テレビ、漫画とわたしたち

□学年

3年 (2) 6年 (1)

□回数

単発 (3)

□質問

- ・もっと詳しく教えてほしい。
- ・第二次性徴がないと大人になれないのか。

(2) 改訂版保健、理科の教科書に目を通したか。

はい (1) いいえ (2)

(3) 準備をしていますか。

始めている (1) 始めていない (2)

「始めている」と答えた人

- ・子供達がどんなことに興味を持っているかアンケートを取っている。

「始めていない」と答えた人

- ・忙しいから。

(4) 「性交」を教える必要があるか。

ある (3)

「ある」と答えた人

- ・子供達は程度の差こそあれ、性交については既に知っている。だからこそ正しく理解させておく必要があると思う。中学校では遅すぎる。(2)
- ・低学年から教えるほど抵抗なく受け入れることができると思う。ただし継続的にするべきだ。

(5) あなたが考える性教育のメインテーマは何か。

- ・体の各器官の正しい名称。
- ・男の子は父親に、女の子は母親になるという認識。
- ・性交の正しい理解 (2)
- ・体の成長と変化 (2)
- ・初潮
- ・性病
- ・避妊
- ・生命の誕生
- ・男女の協力

(6) いよいよ性教育が始まったと思うか。

思わない (2) 不明 (1)

「思わない」と答えた人

- ・保健、理科の中で指導したのでは性教育とは言えない。ちゃんと時間を取らないと意味がないと思う。
- ・以前からやっている。

(7) 小学生の性意識や性行動の問題点。

- ・漫画などに性暴力やエロチックな場面が多い。子どもはそれをみて性をいやらしいもの、ひわいなものと意識しているようだ。
- ・性に関することばを隠語やアレといったことばで置き換えている。暗い。

(8) 性教育を進めていくうえでの障害は何か。

□あなたの場合

- ・教材研究をする時間がない。
- ・性を開放的に考えない教育環境で育っているから、気恥ずかしいという気持ちがあふきれない。

□学校の場合

□社会的には

- ・性を遊びととらえている風潮。

(9) 性教育を進めていくうえで、いま一番欲しい教材は何か。

- ・新しいビデオ
- ・VTR

(10) 養護教諭にどんな協力をしてほしいか。

- ・男の生理、例えば性欲、夢精、こうがんをけられたときの痛さなどは指導できるが、女の子にメンスの時のことは指導できない。そこを補充してもらいたい。以前女の子に「もっと女の子のことに詳しく教えて」といわれたことがある。

(11) 管理職にはどんな協力をして欲しいか。

- ・なし

(12) 教育委員会にはどんな協力をして欲しいか。

- ・教材や研修費用などをどんどん出してほしい。

(13) 医療関係者にはどんな協力をして欲しいか。

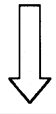
- ・男性向けの性教育の講演会や研修会を開いてほしい。

(14) 保護者にはどんな対応をして欲しいか。

- ・子どもが質問をしたとき、照れたり隠したりしないで正しく話してほしい。
- ・「そんなことそのうちに知るよ」とか「そんなこと知らなくても子は産めるよ」とかいった意識は変えてほしい。父親、いや男性に性教育を受けてほしい。

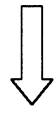
(15) 自由記入

- ・性被害は女性側なんだという意識を、特に若い女性に本気で持ってもらいたい。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



アンケートは、広島県北部と広島市内の教師に140配布した。回答があったのが62である。アンケートの回答は、予想以上に詳しく記入されており、「面接」と同じぐらいに教師の意識が読み取れるものであった。これは、面接だとその場ですぐに回答しなければならないが、アンケートだと、時間をかけてゆっくり考えることができるという側面があったからだろう。时期的に、教師も「性教育の教科導入」を意識しているときであり、関心を引いたものと思われる。「面接」の場合は、これまで積極的に取り組んでいる人は、即答ができるが、そうでない人にとっては難しい設問が多かったようだ。今回はやや「積極派」が多かった。内容的には、特に大きな違いはなかったので、「アンケート」の基礎データを、「面接」の補完データとして読んでいただければ、より「教師の意識」にちかづくことができると思う。